2026

グラフで見る とくしまの農林水産業



徳島県

目　　次

Ⅰ　徳島県のすがた・・・

Ⅰ　徳島県のすがた

■　主要指標

県　　域：東西約107km、南北79km
県土面積：4,146.96k㎡　　(R8.4.1時点)
（出典：国土地理院ウェブサイト）
県総人口：675,489人（令和７年国勢調査）
男：323,052人　　女：352,437人

県総世帯数：304,292世帯（令和７年国勢調査）
県内総生産額：3兆2,658億円（令和４年度）
うち農林水産業：553億円
県民所得(分配)：2兆2,309億円（令和4年度）
1人当たり県民所得：317万円（令和４年度）

資料：総務省統計局「令和７年国勢調査」
徳島県「令和４年度徳島県県民経済計算」

■　沿　　革

徳島県の前身である阿波国は大化の改新（645年）と呼ばれる政治改革によって成立した。それは、吉野川地域の「粟の国」と県南の「長の国」を合わせて「阿波の国」を置いたと伝えられる。徳島は、古くから淡路（阿波路）を通じ、近畿との交流が頻繁で、平安時代の官道としてもこのルートが使われるなど、近畿の政治文化の影響を強く受けている。

明治維新後、一時期高知県に含まれたこともあったが、明治13年（1880年）にほぼ現在の徳島県が発足した。

徳島県の行政区画は令和8年4月1日現在8市15町1村である。

■　地　　勢

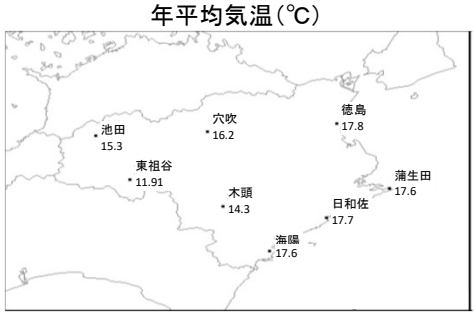
本県は、四国の東南部に位置し、山地が多く県土面積のおよそ8割を占めている。

四国第2の高山である剣山（1,955m）を中心とした四国山地が県を南北に分け、県の北辺には讃岐山脈が走り、香川県との境をなしている。この両山地の間を縫って流れる吉野川（四国三郎）は、水源を高知県に発し、三好市池田町から東流するにつれ、広くくさび型となって農業の中心地帯である徳島平野を形成している。

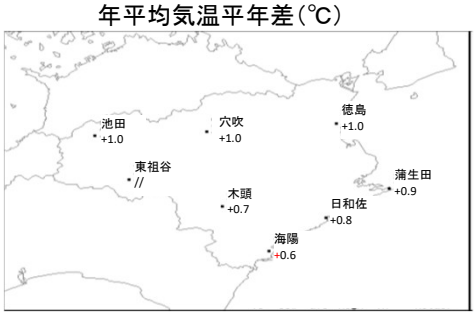
■　気　　象

気候は温暖多雨の地域と瀬戸内海気候の一部の地域からなっており、日照時間も多い。

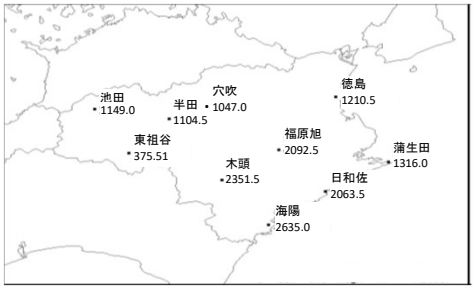
年平均気温(℃)



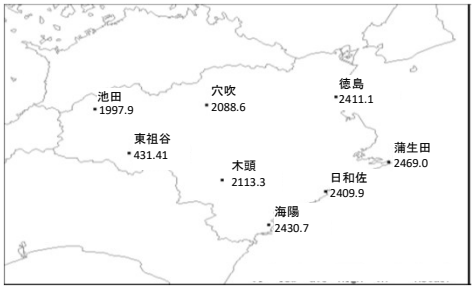
年平均気温平年差(℃)



年降水量(㎜)

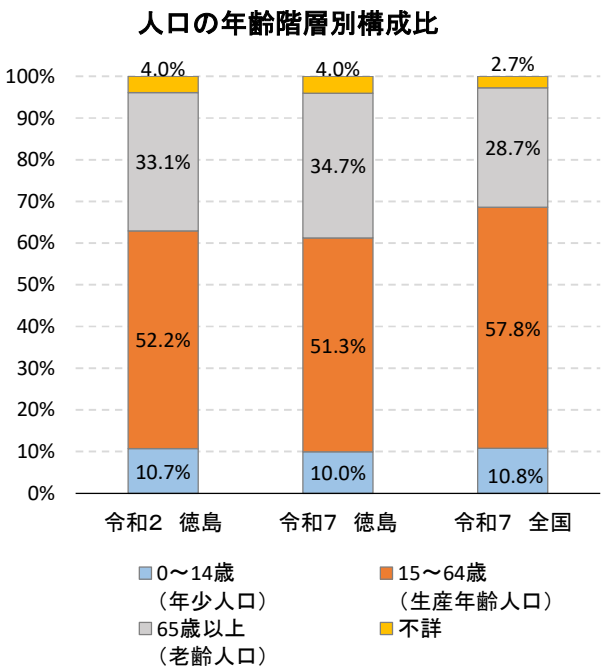


年間日照時間(h)

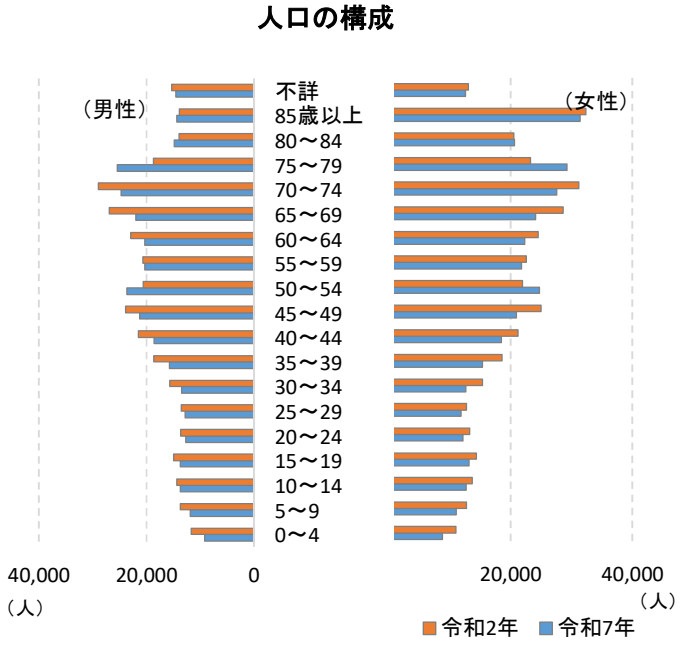


資料：徳島地方気象台「徳島県の気象年報 2025年」を一部加工

■ 人　　口

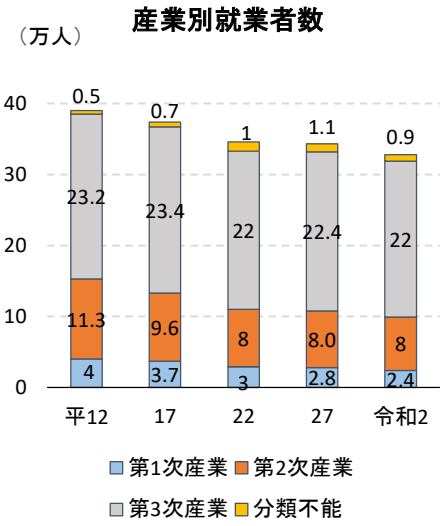


資料：総務省統計局「令和７年国勢調査」

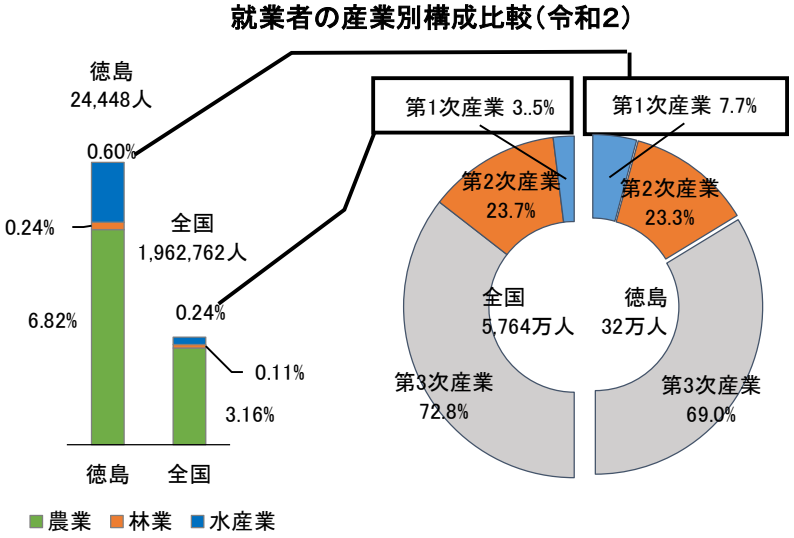


資料：総務省統計局「令和７年国勢調査」

■ 就　　業



資料：総務省統計局「令和２年国勢調査



注：割合は、分母から「分類不能の産業」を除いて計算している。

資料：総務省統計局「令和２年国勢調査」

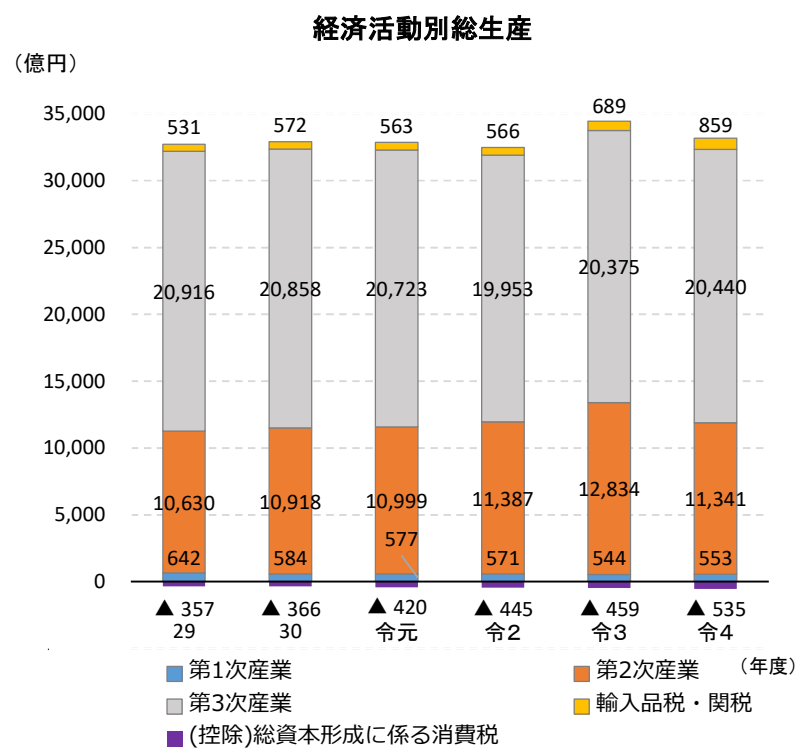
――――農業就業人口の年齢構成比――――

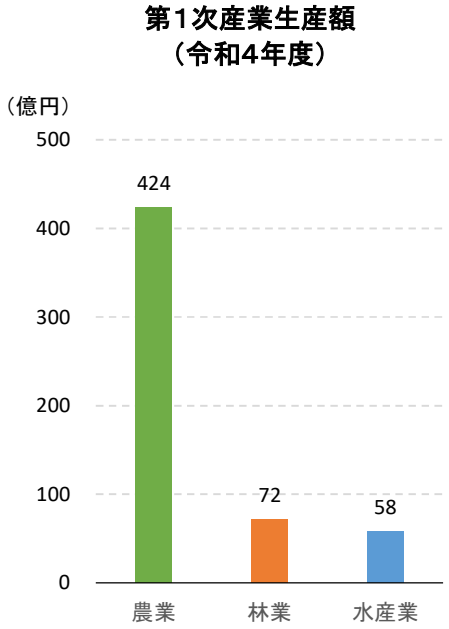
令和２年の国勢調査における本県の総人口は７１万9,559人で、平成27年に比べ3万6,174人減少した。

年齢階層別の構成比をみると、65歳以上の老齢人口が33.1%を占め、全国平均を5.1ポイント上回っており、5年間で2.5ポイント上昇した。

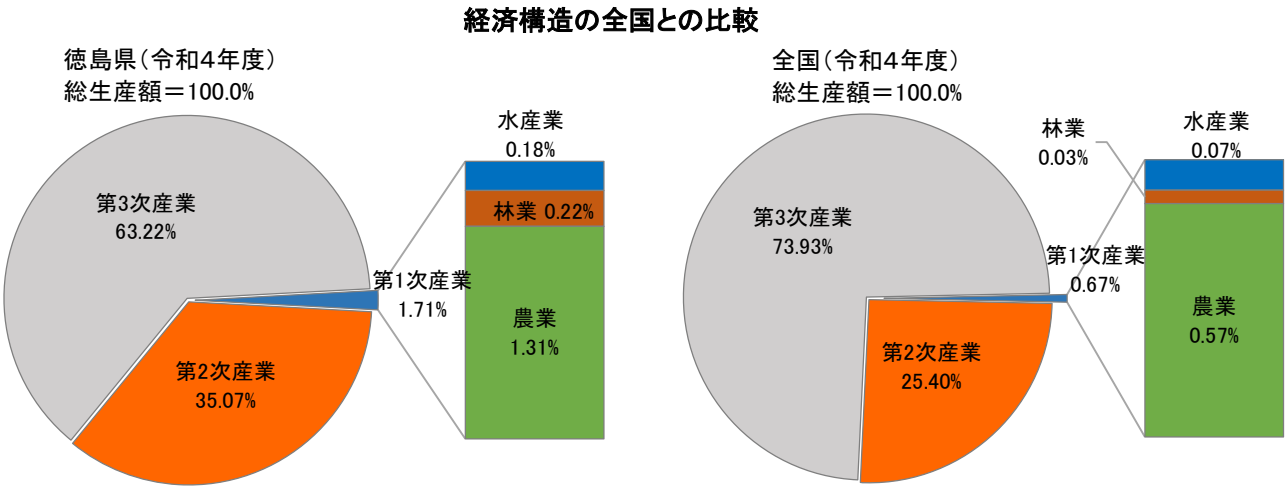
一方、産業別就業者数をみると、第1次産業は2万4,448人で、平成27年に比べ3,638人（13.0%）減少した。

■ 経　　済





資料：徳島県「令和４年度徳島県県民経済計算」



注：輸入品に課せられる税、消費税、帰属利子等は含まれていない。

資料：内閣府「令和４年度国民経済計算」

徳島県「令和４年度徳島県県民経済計算」

――――農林水産業のウエイトが高い徳島――――

令和４年度の県内総生産は、名目3兆2,658億円、前年度比2.6%減、実質3兆2,634億円、前年度比2.4%減少した。徳島県は第1次産業が1.71%を占め、全国平均0.67%と比較して、農林水産業のウエイトが高いことが特徴である。

第1次産業全体では1.7%増の553億円で、農業が0.5%増の423億円、林業が1.4%減の72億円、水産業は15.7%増の58億円となった。

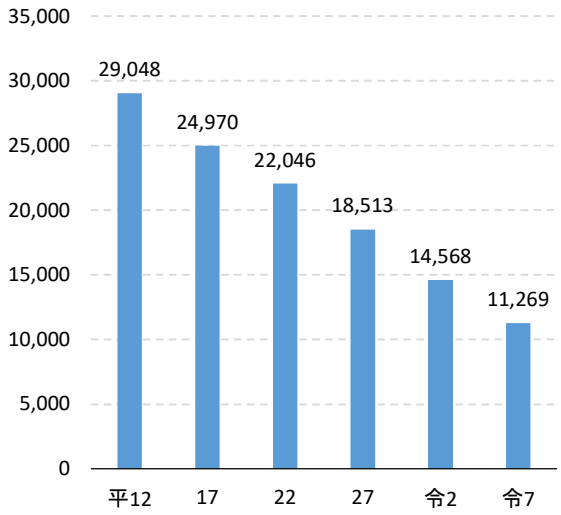
Ⅱ 農　　業

1　農業の構造

（１）農業経営体

（経営体）

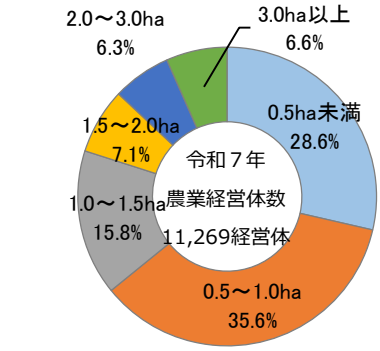
農業経営体の推移

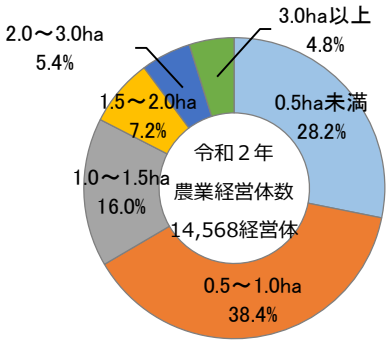


注：平成12年値は、販売農家、農家以外の農業事業体及び農業サービス事業体の合計値である。

資料：農林水産省「農林業センサス」

経営耕地面積規模別経営体数割合

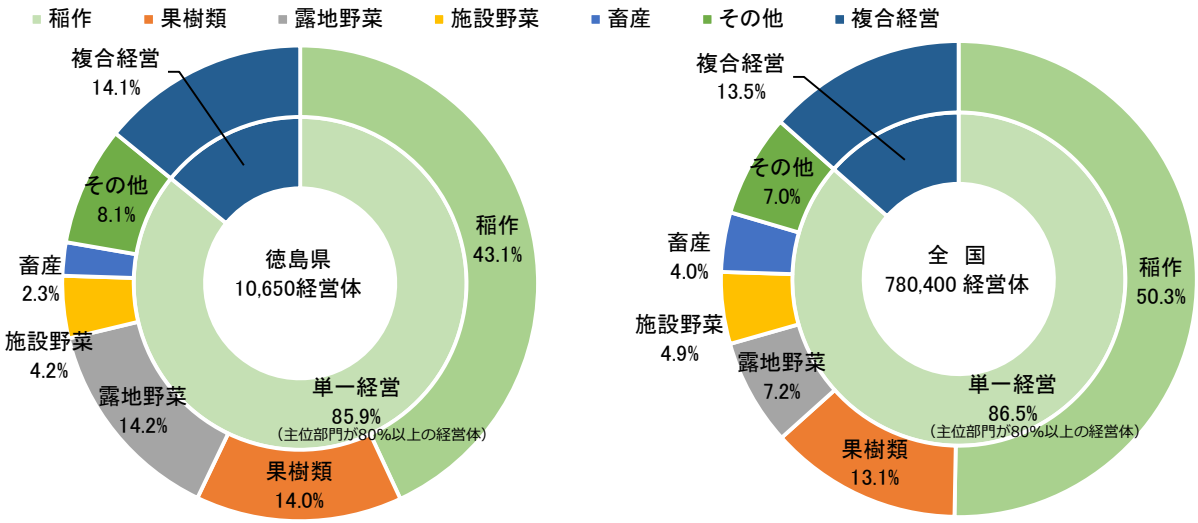




資料：農林水産省「2020年・2025年農林業センサス」

農業経営組織別経営体数割合（令７）

－販売のあった経営体－



資料：農林水産省「2025年農林業センサス」

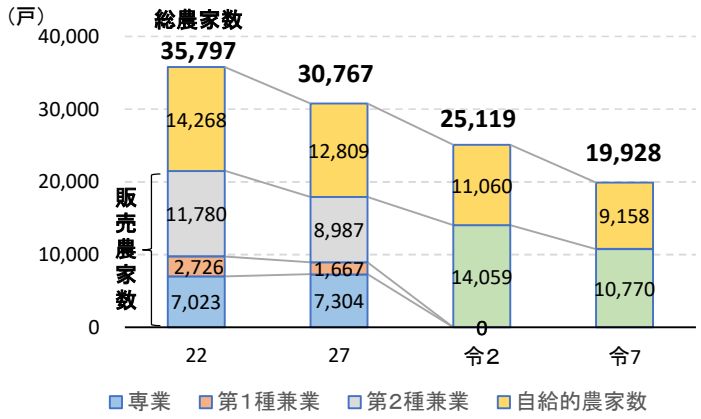
――――野菜と果樹のウエイトが高い本県の農業――――

2025年農林業センサスにおける本県の農業経営体数は11,269経営体となっており、経営耕地面積が1.0ha以下の経営体が64.2%を占めている。一方、2.0ha以上の経営体が令和２年と比べて2.7%増加した。

農業経営体の経営形態を農産物の販売状況からみると、本県は全国に比べ野菜と果樹のウエイトが高い特徴が出ている。これを単一経営体の部門別割合でみると、本県は野菜（露地+施設）が18.4%で全国より6.3ポイント高く、果樹も14.0%で全国より0.9ポイント高くなっている。

（２）農家数・新規農業就業者数・農業従事者数

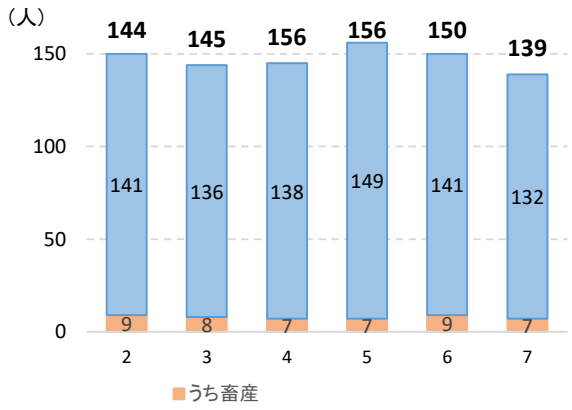
農家数の推移



資料：農林水産省「農林業センサス」

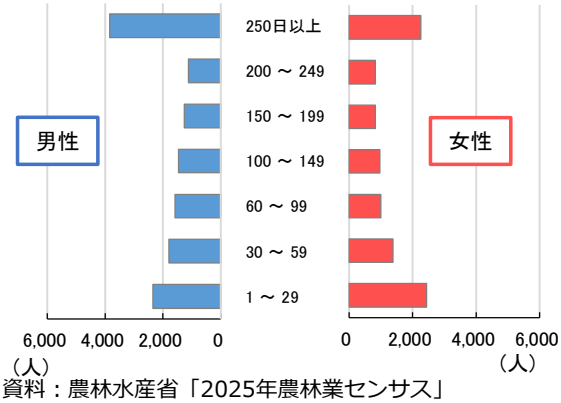
※2020年センサスより専兼別農家数調査は廃止

新規農業就業者数の推移



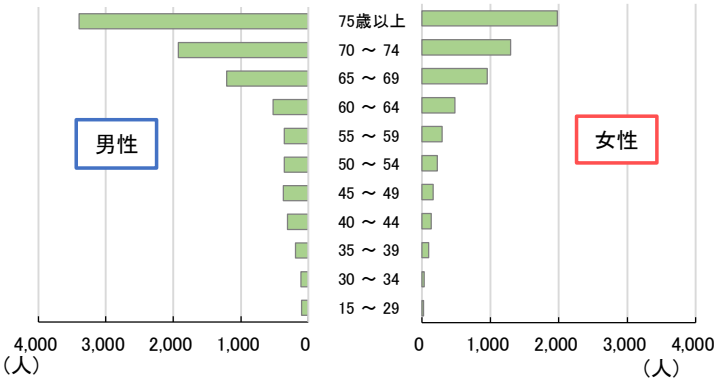
資料：徳島県調べ

自営農業従事日数別農業従事者数（令7）



資料：農林水産省「2025年農林業センサス」

年齢階層別基幹的農業従事者数（令7）



資料：農林水産省「2025年農林業センサス」

基幹的農業従事者数の年齢構成比（令7）

区　分		合　計	15～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75歳以上
徳島県	男性	8,856	98	109	192	307	372	359	356	522	1,212	1,930	3,399
	女性	5,677	24	32	95	133	166	227	294	480	954	1,293	1,979
	男女計	14,533	122	141	287	440	538	586	650	1,002	2,166	3,223	5,378
		100.0%	0.8%	1.0%	2.0%	3.0%	3.7%	4.0%	4.5%	6.9%	14.9%	22.2%	37.0%
全　国	男性	659,332	10,193	10,810	17,872	24,518	28,671	29,787	31,616	49,663	88,627	134,834	232,741
	女性	376,896	2,525	3,558	7,299	11,094	13,585	17,056	21,331	35,339	60,422	82,252	122,435
	男女計	1,036,228	12,718	14,368	25,171	35,612	42,256	46,843	52,947	85,002	149,049	217,086	355,176
		100.0%	1.2%	1.4%	2.4%	3.4%	4.1%	4.5%	5.1%	8.2%	14.4%	20.9%	34.3%

資料：農林水産省「2025年農林業センサス」

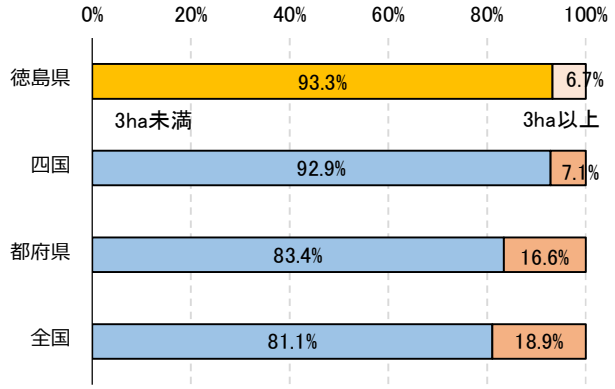
――――65歳以上の基幹的農業従事者数は全国より4.5ポイント高い――――

2025年農林業センサスによると、本県の総農家数は1万9,928戸であり、そのうち販売農家（経営耕地面積が30アール以上または農作物販売金額が50万円以上の農家）は1万770戸であった。

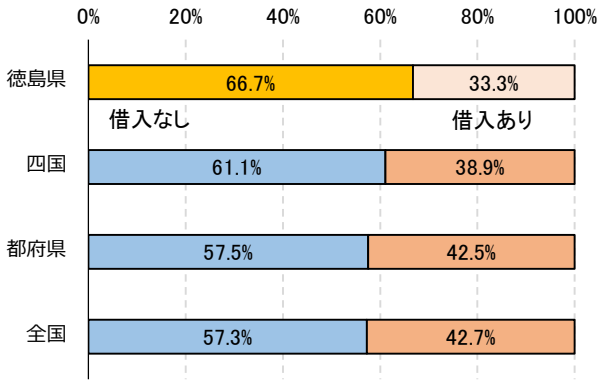
また、本県の基幹的農業従事者数（ふだん仕事として自営農業に従事した世帯員数）は1万4,533人であり、そのうち、65歳以上が1万767人と全体の74.1%を占めている。男女別でみると女性の割合が39.1%となっている。

（３）農業経営体の状況（令和7年2月1日現在）

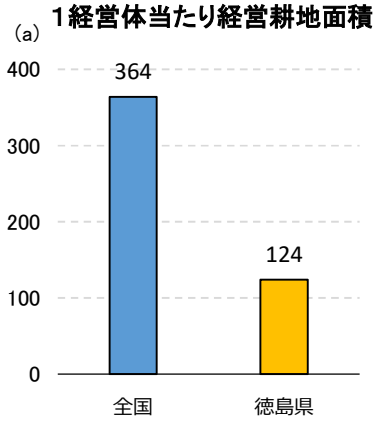
経営耕地面積規模別経営体数の割合



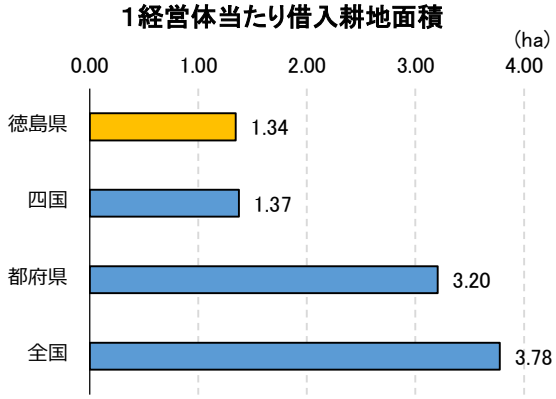
借入耕地のある経営体数の割合



１経営体当たり経営耕地面積



１経営体当たり借入耕地面積



経営耕地面積規模別経営体数のまとめ表

区　　分	単位	徳島県	四国	都府県	全国
(A)　農業経営体	経営体	11,269	51,185	806,855	836,054
(B)　経営耕地のある経営体	〃	11,148	50,732	794,893	823,415
(C)　経営耕地3ha以上の経営体	〃	747	3,610	131,849	155,366
(D)　借入耕地のある経営体	〃	3,711	19,744	337,764	351,982
(E)　経営耕地面積（農業経営体）	ha	13,800	65,923	2,037,764	2,998,634
(F)　借入耕地面積（農業経営体）	〃	4,989	27,106	1,082,259	1,329,362
経営耕地3ha以上の経営体数割合 C/B	%	6.7%	7.1%	16.6%	18.9%
借入耕地のある経営体の割合 D/B	〃	33.3%	38.9%	42.5%	42.7%
１経営体当たり経営耕地面積 E/B	ha	1.24	1.30	2.56	3.64
１経営体当たり借入耕地面積 F/D	ha	1.34	1.37	3.20	3.78

資料：農林水産省「2025年農林業センサス」

（４）経営感覚に優れた経営体の育成

ア　認定農業者の数（令和7年3月末現在）

区分	認定農業者	うち法人
徳島県	1,793	259
中国四国	17,995	3,340
全国	212,136	29,684

認定農業者制度とは、「農業経営基盤強化促進法」に基づき適用されるもので、経営改善に意欲ある農業者が農業経営の改善計画を作成し、その計画を市町村の基本構想に照らして認定する制度であり、次のような支援措置が設けられている。
- 農業委員会等による農地利用集積の支援
- 税制上の特例
- 制度資金の融資配慮
- 農業者年金の保険料の助成
- 経営相談、研修等の実施等

資料：認定農業者の認定状況（農林水産省経営局調べ）

イ　農業経営体の法人化状況（令和7年2月1日現在）

区分	農事組合法人	株式会社(特例有限会社を含む)	合名・合資会社	合同会社	各種団体	その他法人	合計
徳島県	24	261	2	22	3	13	325
中国四国	1,172	2,378	8	200	183	166	4,107
全国	6,992	22,874	84	1,609	1,358	902	33,819

資料：農林水産省「2025年農林業センサス」

ウ　農業経営体数推移

区分	農業経営体数	個人経営体	団体経営体	
				法人経営体
平成27年	18,513	18,214	299	290
令和２年	14,568	14,263	305	293
令和７年	25,822	10,931	338	325

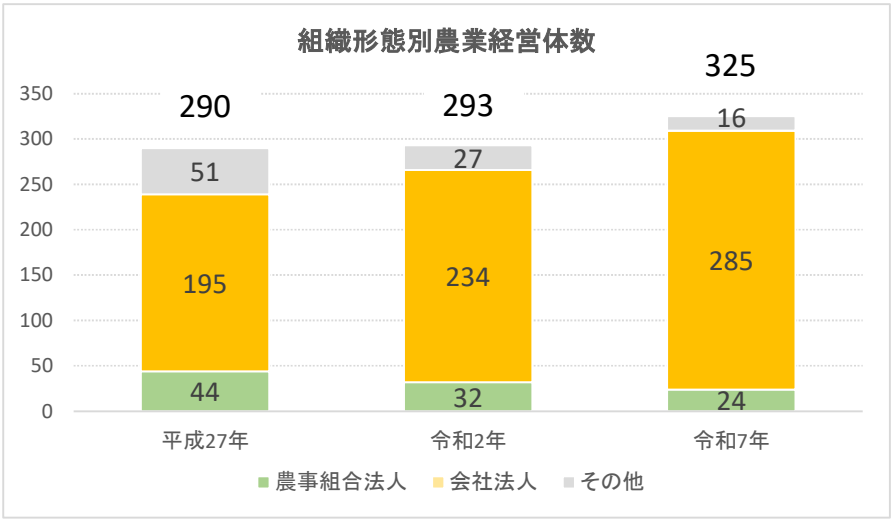
増減率

単位：％

区分	農業経営体数	個人経営体	団体経営体	
				法人経営体
令2/平27	△21.3	△21.7	2.0	1.0
令7/令２	△22.6	△23.4	10.8	10.9

資料：農林水産省「2025年農林業センサス」

エ　組織形態別農業経営体数推移



資料：農林水産省「2025年農林業センサス」

オ　農業生産関連事業を行っている経営体数（令和7年2月1日現在）

区分	農産物の加工	小売業	貸農園・体験農園等	観光農園	農家民宿	農家ﾚｽﾄﾗﾝ	再生可能ｴﾈﾙｷﾞｰ発電	その他	農業生産関連事業を行っている実経営体数
徳島県	281	234	11	19	14	13	28	36	544
中国四国	3,559	5,140	119	400	91	133	276	971	9,557
全国	25,822	31,794	1,664	4,404	754	1,275	2,343	8,746	67,594

注：事業種別は重複するため合計と実経営体数は一致しない。

資料：農林水産省「2025年農林業センサス」

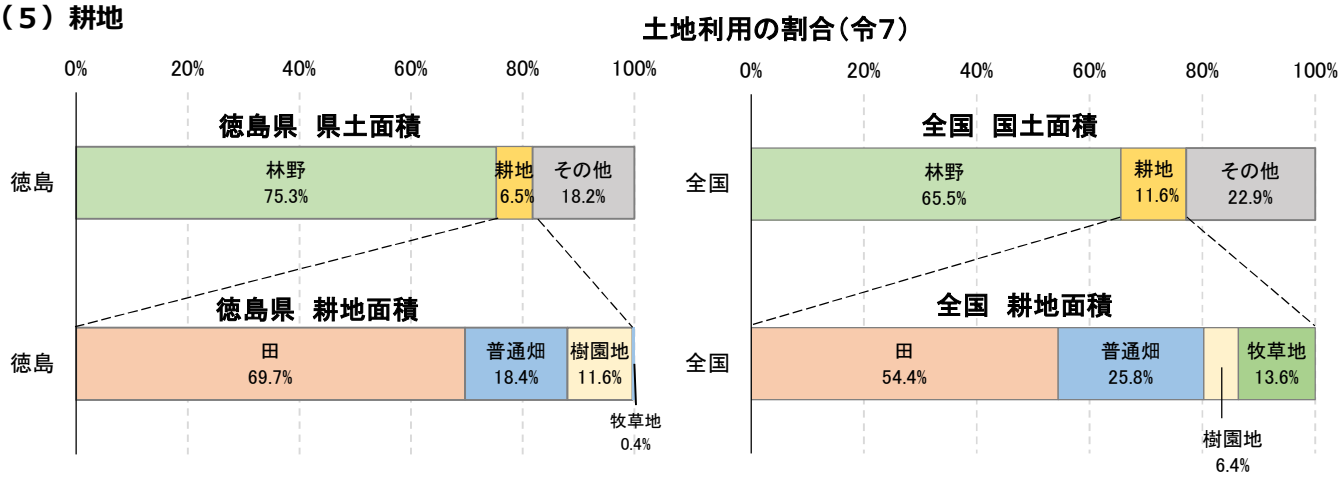
――――多様な担い手づくりの推進――――

認定農業者や農業法人などの経営感覚に優れた意欲ある担い手や集落営農組織を育成するため、経営情報の提供、技術・経営指導、融資等の支援を行っている。また、農村地域を支える女性やこれからの本県農業の担い手としての活躍が期待されている青年農業者や新規就農者の育成など、農業農村の多様な担い手の育成を推進している。

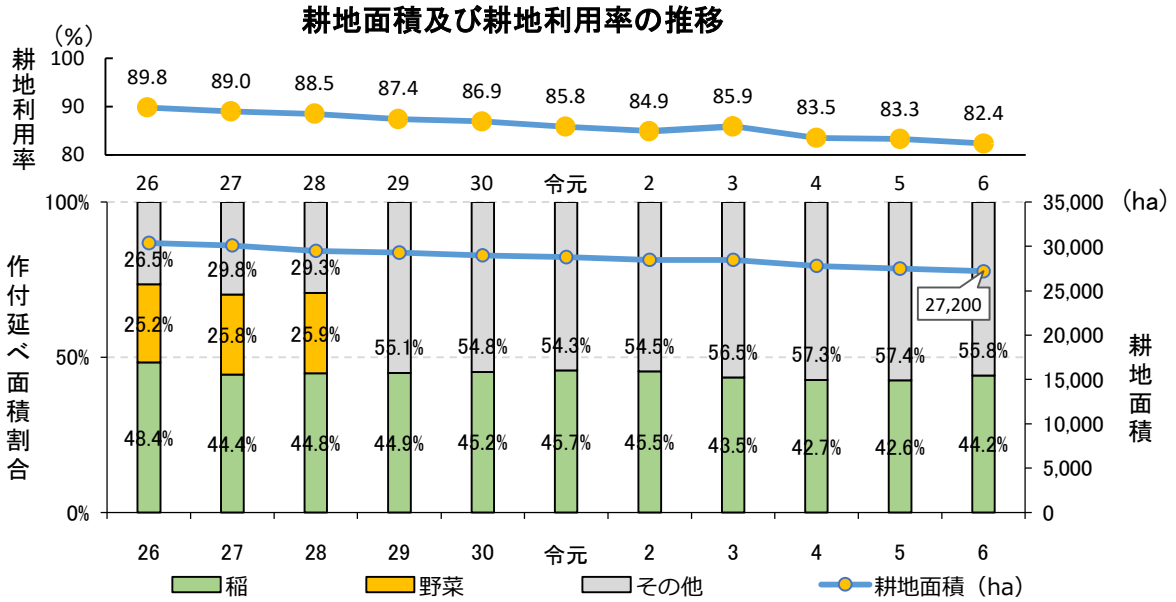
令和７年3月末現在の認定農業者数は1,793経営体であり、前年度と比べ52経営体減少した。また、認定農業者のうち法人経営体は259法人で、前年度と比べ24法人増加した。

令和７年法人経営体数は325法人であり、令和2年と比べて10.9%増加した。

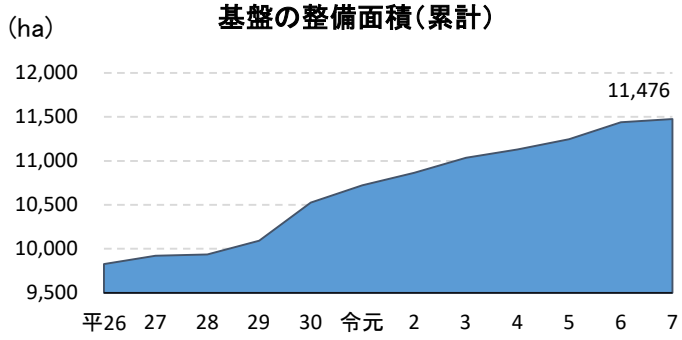
（５）耕地



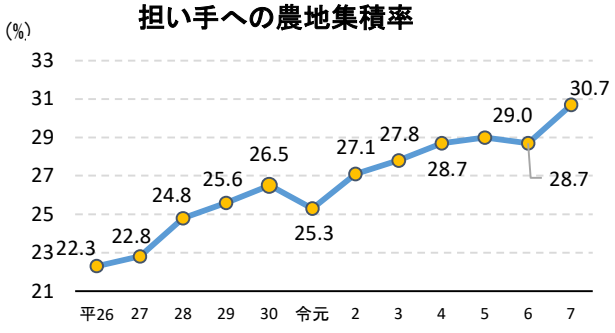
資料：面積は、国土地理院「令和８年全国都道府県市区町村別面積調」
林野面積は、農林水産省「2025年農林業センサス」
耕地面積は、農林水産省「作物統計調査」



資料：農林水産省「作物統計調査」
※平成29年より「野菜」の「作付け延べ面積」が非公表となり，「その他」に含まれる。



資料：徳島県調べ



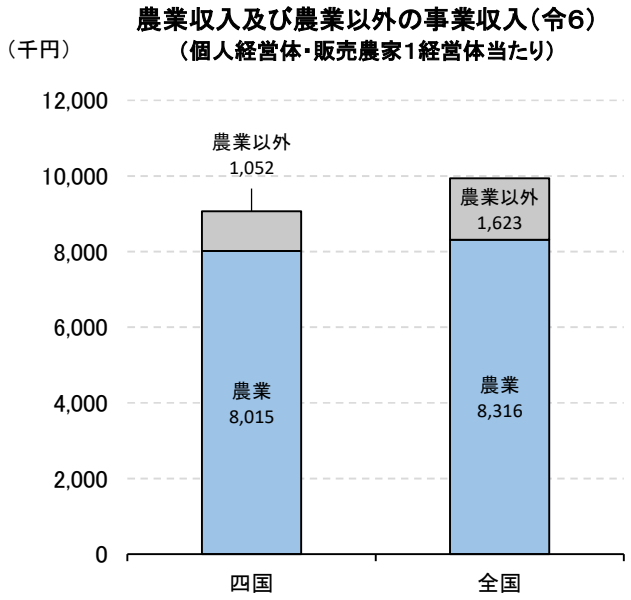
資料：農林水産省「都道府県別の担い手への農地集積率」
（令和７年度）

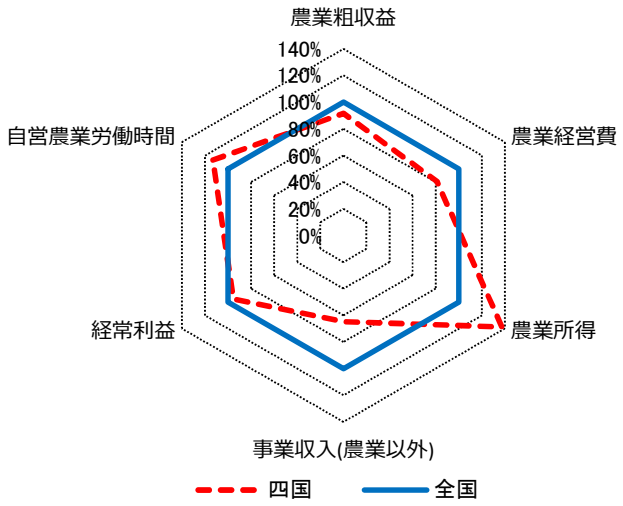
――――環境に調和した農業生産基盤の整備――――

農業の生産性向上や野菜、麦、大豆など多様な作物の栽培が可能となるよう、良好な営農条件を備えた農地、農業用水を確保するため、環境に調和した、ほ場整備、用排水路、農道等の生産基盤を整備するほか、自然災害対策として、農地や農業施設の保全や機能回復等についても対策を図っている。

令和６年「作物統計調査」における耕地面積は2万7,200haで、前年より減少した。また、耕地利用率は82.4%であり、全国平均90.4%をやや下回っている。温暖な気候と恵まれた土地条件等を活かして、吉野川中下流域平野部では冬野菜を中心とする園芸産地が形成されるなど、土地が有効活用されている一方で、中山間地域などでは耕作放棄地の発生などの課題が生じている。

（６）農業経営





農業経営の指標（令6）（個人経営体・販売農家1経営体当たり）

項目		単位	四国	全国	全国比(%)
農業粗収益		千円	8,258	9,018	91.6%
農業経営費		千円	5,930	7,324	81.0%
農業所得		千円	2,328	1,694	137.4%
事業収入（農業以外）及び営業外利益		千円	1,295	2,325	55.7%
共済・補助金等受取金		千円	243	702	34.6%
租税公課		千円	239	229	104.4%
農業依存度		%	160.1	102.7	*57.4%
農業所得率		%	28.2	18.8	*9.4%
付加価値額		千円	2,995	2,587	115.8%
減価償却費		千円	560	947	59.1%
自営農業労働時間		時間	2,818	2,493	113.0%
経営耕地面積		a	113.1	328.9	34.4%
集約度	10ａ当たり自営農業労働時間	時間	249	76	328.7%
	10ａ当たり減価償却費	千円	50	29	172.0%
収益性（所得）	経営耕地面積10ａ当たり	千円	206	52	399.6%
	農業従事者１人当たり	千円	537	376	142.7%
	減価償却費千円当たり	円	4,157	1,789	232.4%
生産性（付加価値額）	経営耕地面積10ａ当たり	千円	265	79	336.7%
	農業従事者１人あたり	千円	690	575	120.0%
	減価償却費千円当たり	円	5,348	2,732	195.8%

資料：「農業経営統計調査　令和６年　営農類型別経営統計」（農林水産省）　　*はポイント差

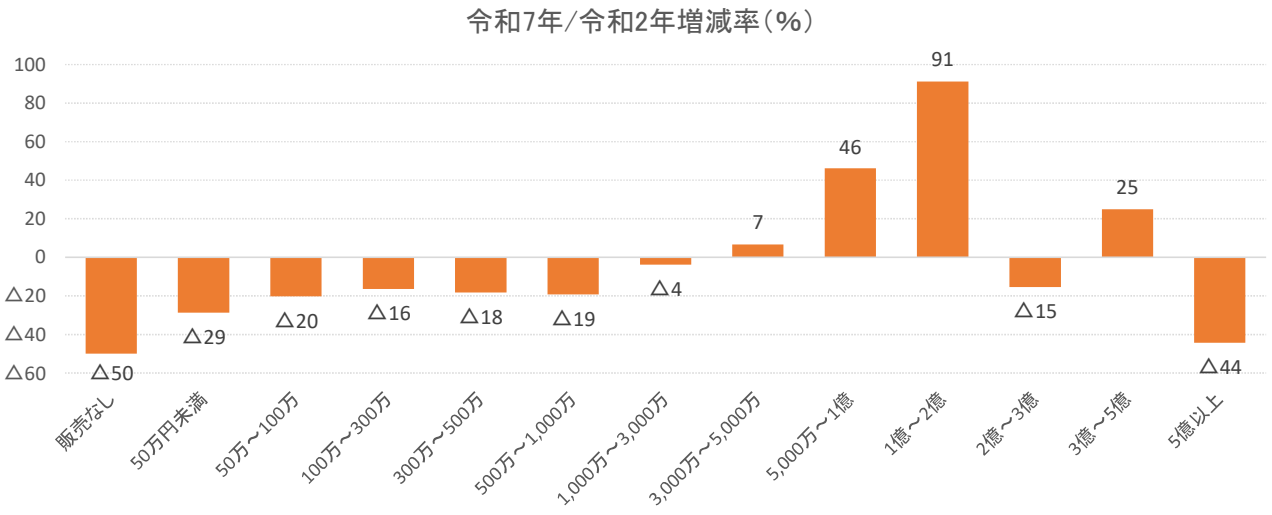
令和６年の四国における個人経営体の販売農家１経営体あたりの農業所得は232万8,000円で、全国平均の約1.4倍となった。農業純生産（農業生産によって新たに生み出された付加価値額）を経営耕地面積10a当たりでみると、26万5,000円 で全国平均の約3.4倍となっている。

上記表より、四国は全国と比べて中山間地域や狭小な平野部が多い地域であることから、これら農地に多くの労働力と設備を導入し、大きな価値を生み出す農業を実施していることがわかる。

※個人経営体：主業経営体、準主業経営体及び副業的経営体（所得税青色申告決算書（農業所得用）による帳簿管理を実施している経営体を含む。）を合わせて集計したものである。

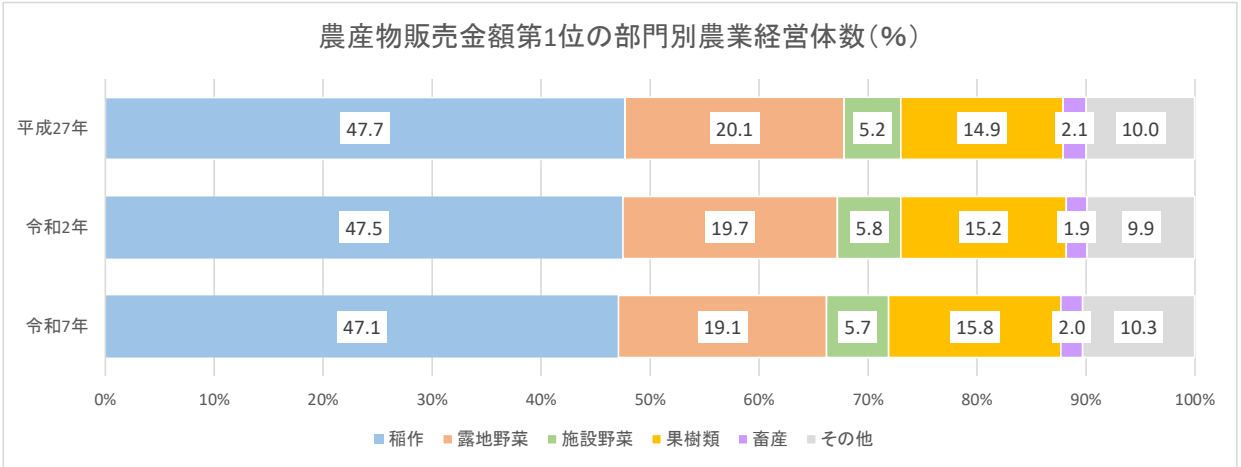
農産物販売金額規模別農業経営体数

区分	計	販売なし	50万円未満	50万～100万	100万～300万	300万～500万	500万～1,000万	1,000万～3,000万	3,000万～5,000万	5,000万～1億	1～2億	2～3億	3～5億	5億以上
平成27年	18,513	1,586	7,586	2,802	2,803	1,044	1,321	1106	136	76	32	0	10	11
令和2年	14,568	1,237	4,645	2,688	2,671	975	1,147	920	134	93	23	13	4	18
令和7年	11269	619	3311	2146	2234	798	927	885	143	136	44	11	5	10



資料：農林水産省「2025年農林業センサス」

農産物販売金額規模別経営体数について、販売金額3,000万円以上の経営体が令和7年度349経営経営体となっており、令和2年度と比べて、118経営体（51%）増加した。



2　農業生産

（１）生産の概要

ア　農業生産の現状（作物別統計表）

項目		年次	作付(栽培)面積 (ha)	収穫量 (t)	全国比較			
					作付(栽培)面積		収穫量	
					シェア	順位	シェア	順位
耕種	水稲	R7	10,700	51,600	0.70%	39	0.72%	37
	小麦	〃	70	227	0.03%	38	0.02%	35
	二条大麦	〃	27	59	0.07%	22	0.04%	23
	はだか麦	〃	5	10	0.10%	22	0.06%	23
	かんしょ	R6	1,070	26,000	3.36%	5	3.63%	5
	きゅうり	〃	66	6,580	0.72%	38	1.31%	24
	トマト	〃	79	4,530	0.74%	37	0.68%	31
	うちミニトマト	〃	24	1,140	0.90%	26	0.73%	25
	なす	〃	82	5,790	1.09%	32	2.07%	12
	しし とう	〃	8	99	3.00%	7	1.94%	9
	えだまめ	〃	219	1,100	1.84%	14	1.89%	11
	はくさい	〃	71	2,830	0.46%	30	0.34%	29
	キャベツ	〃	148	6,780	0.45%	33	0.52%	25
	ほうれんそう	〃	320	2,190	1.79%	18	1.15%	23
	ブロッコリー	〃	947	10,500	5.47%	6	6.54%	6
	カリフラワー	〃	73	1,700	6.13%	7	8.76%	6
	レタス	〃	248	5,380	1.28%	14	1.01%	13
	ねぎ	〃	225	2,900	1.06%	28	0.73%	27
	だいこん	〃	311	20,700	1.17%	25	1.91%	14
	にんじん	〃	921	43,300	5.76%	4	8.16%	3
	れんこん	〃	521	4,450	12.93%	2	8.57%	3
	ゆず	R5	295	2,721	13.23%	2	9.67%	3
	すだち	〃	366	3,293	98.52%	1	98.12%	1
	みかん	R6	640	7,940	1.86%	14	1.42%	15
	日本なし	〃	199	3,240	2.08%	13	1.88%	15
	うめ	〃	98	202	0.76%	21	0.39%	21

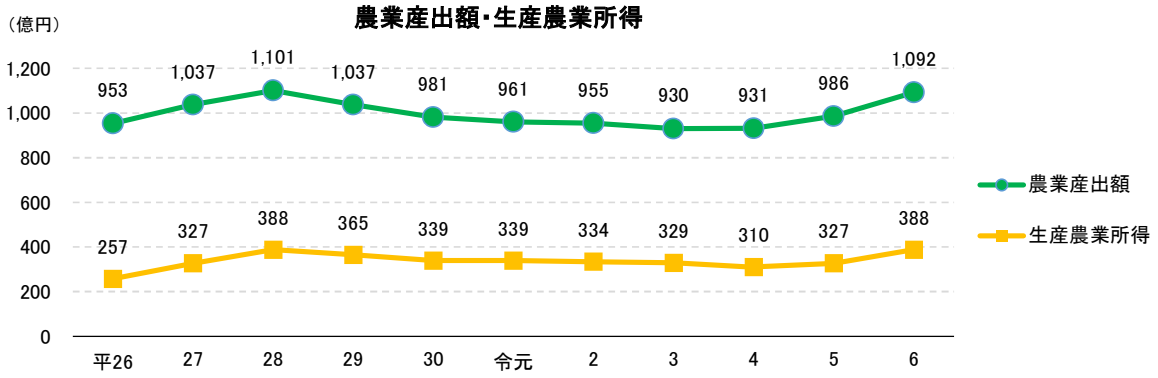
注：野菜の作付面積及び収穫量、果樹の収穫量については、調査対象都道府県順位。

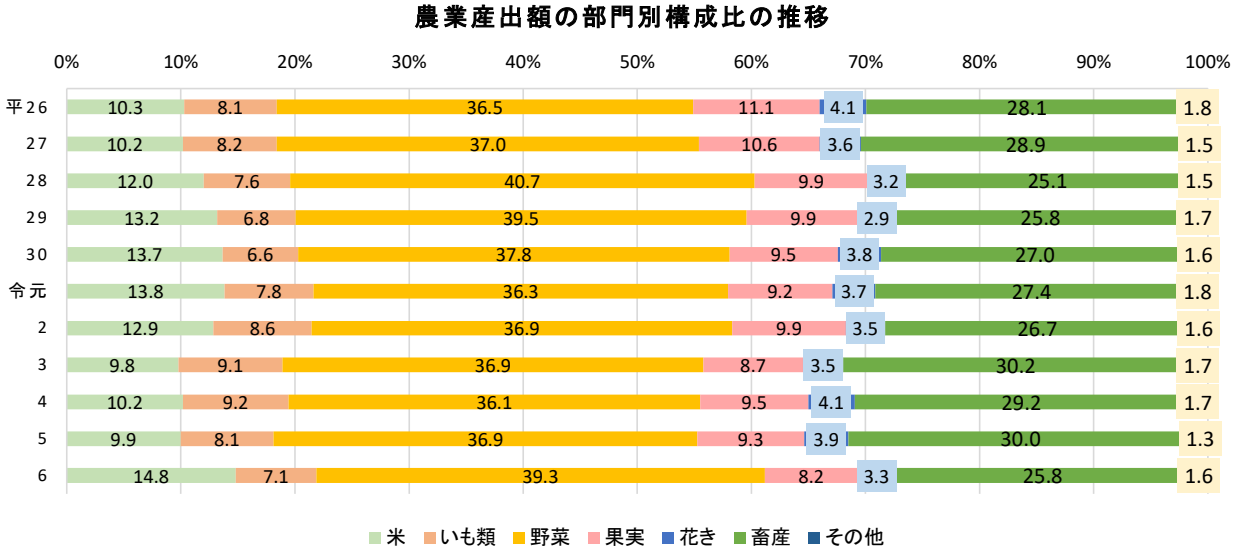
資料：農林水産省「作物統計（普通作物・飼料作物・工芸農作物）」「野菜生産出荷統計」「果樹生産出荷統計」
ゆず・すだちは「特産果樹生産動態等調査」（徳島県調べ）

項目		単位	調査期日	飼養頭羽数	全国比較	
					シェア	順位
畜産	肉用牛	頭	R7.2.1	21,900	0.8%	27
	乳用牛	〃	〃	3,030	0.2%	36
	豚	〃	〃	45,300	0.5%	32
	採卵鶏	千羽	〃	831	0.5%	33
	ブロイラー	〃	〃	3,855	2.7%	7

資料：農林水産省「畜産統計調査」

イ　農業産出額・生産農業所得

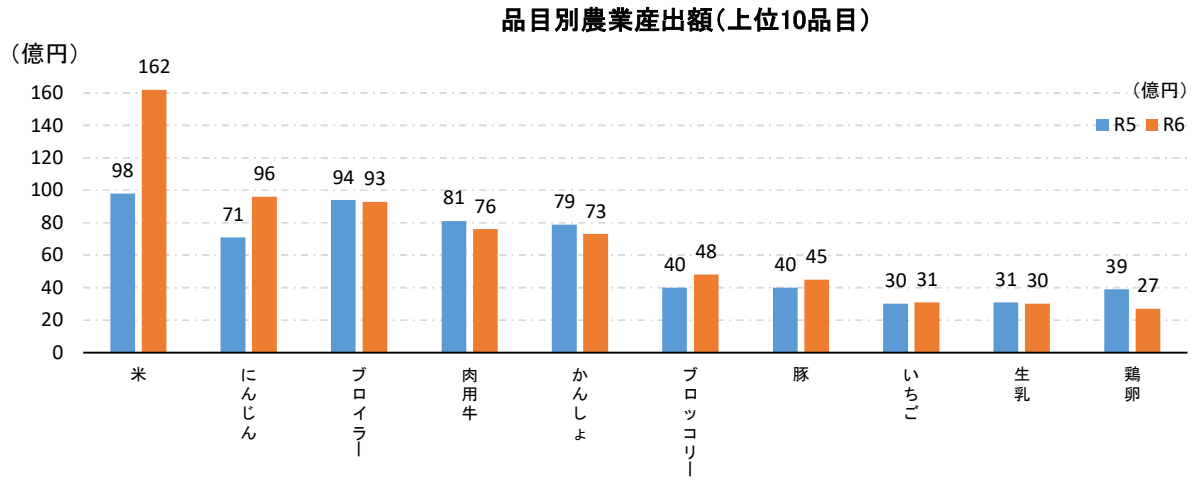


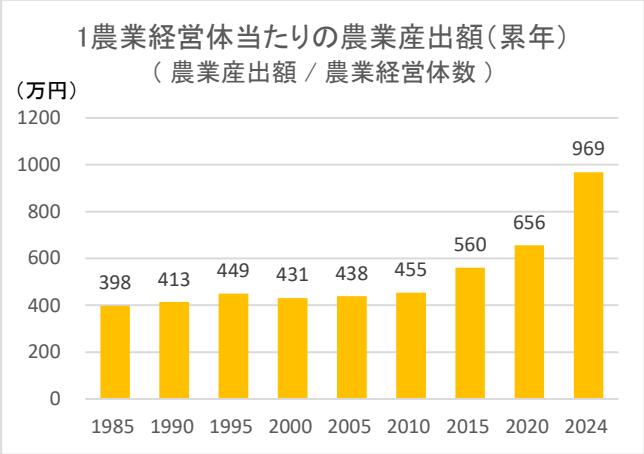


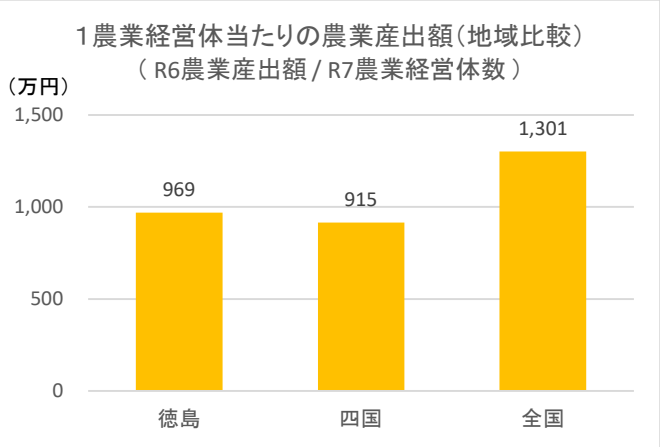
令和６年農業産出額と全国比較

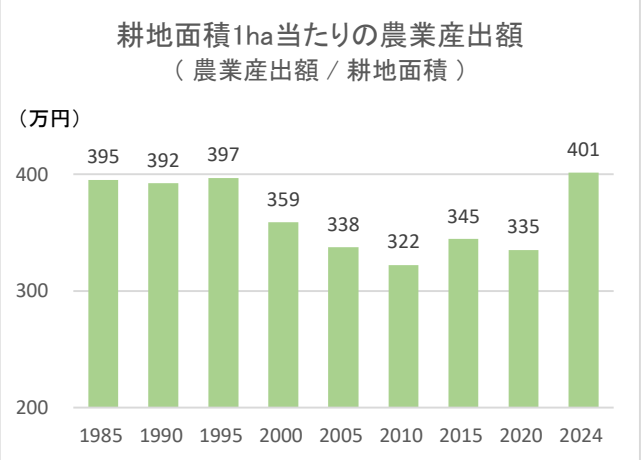
部　門	徳島県(億円)	全国(億円)	全国シェア(%)	全国順位
農業産出額	1,092	107,801	1.0	33
米	162	25,524	0.6	40
麦類	x	582	x	-
豆類	0	621	0.0	45
いも類	77	2,565	3.0	7
野菜	429	25,510	1.7	22
果実	89	10,112	0.9	27
花き	36	3,423	1.1	32
畜産	282	36,654	0.8	32
肉用牛	76	7,861	1.0	27
乳用牛	33	10,035	0.3	33
豚	45	7,567	0.6	31
鶏	127	10,170	1.2	24

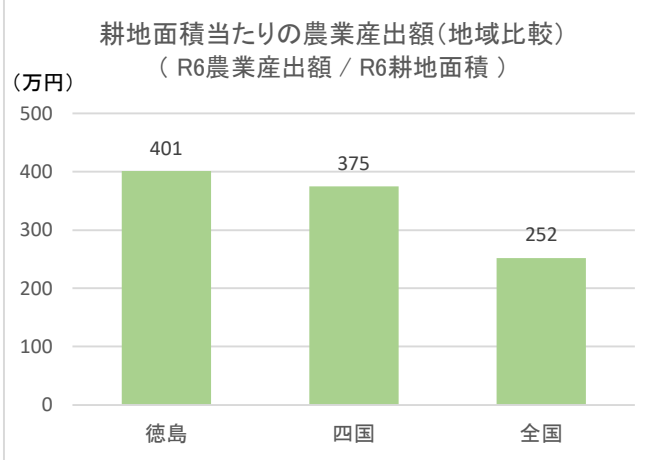
資料：農林水産省「生産農業所得統計」（令５・６）











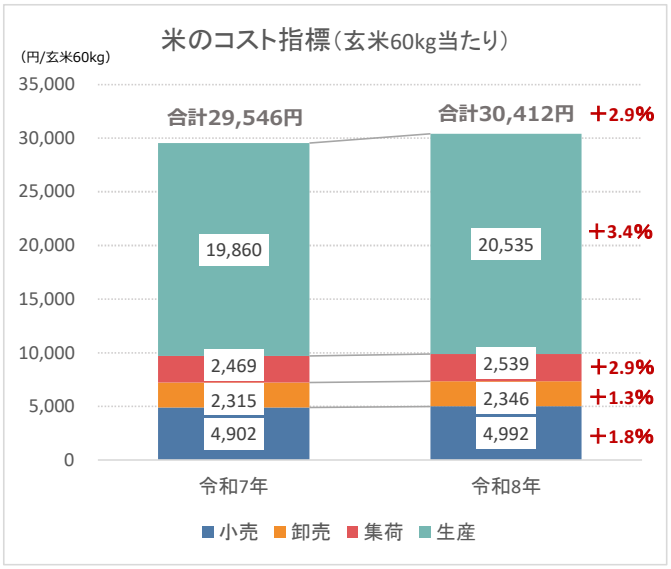
徳島県における令和６年の農業産出額は1,092億円となり、7年ぶりに1,000億円を超えた。特に、米と野菜の産出額が増加したことで、前年と比較して106億円増加している。

部門別では、野菜が39.3%を占めもっとも高く、次いで畜産25.8%、米14.8%、果樹8.2%の順となっている。

品目別では、米、ブロイラー，肉用牛、かんしょ、にんじん、の順となっており、上位5品目で全体の約46%を占めている。

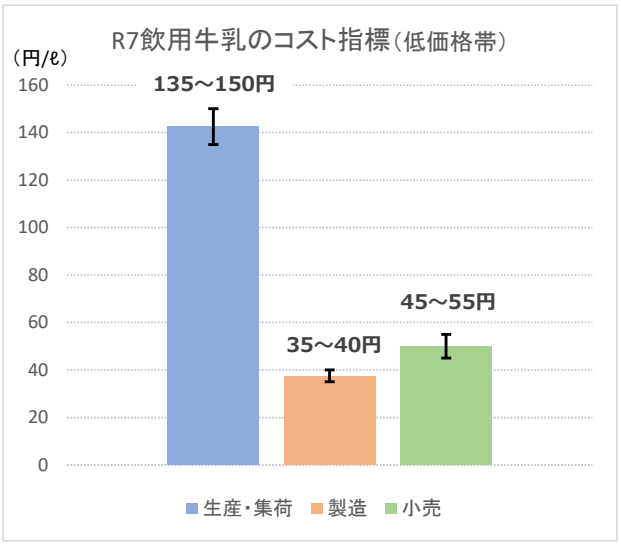
耕地面積当たり産出額は全国平均を大きく上回っているが、経営体当たり産出額は全国平均を下回っており、高収益作物の栽培による土地生産性は高いが、経営体規模の拡大が課題という構造的特徴を有している。

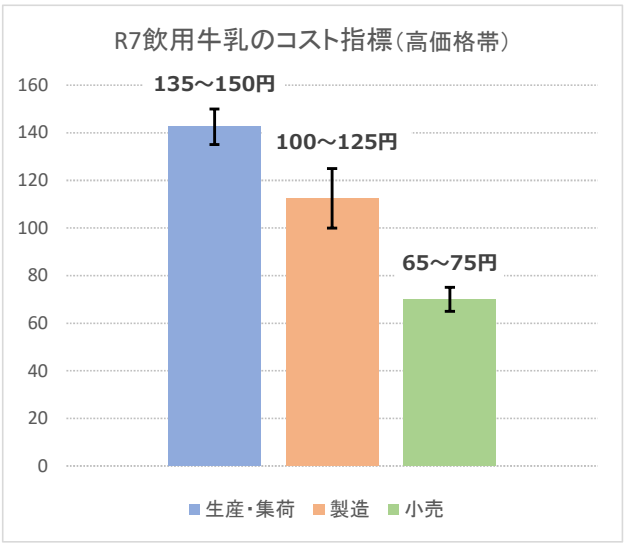
ウ　コスト指標（※コストの積み上げ値であり、利潤を含まないもの。）



	費用内訳	令和７年 (円/玄米60kg)	令和８年 (円/玄米60kg)	対前年比 (%)
生産	肥料費	1,320	1,362	3.20
	農業薬剤費	1,080	1,098	1.70
	賃借料及び料金	1,584	1,686	6.30
	農機具費	4,026	4,224	5.00
	労働費	6,600	6,834	3.50
	その他	5,250	5,334	1.02
集荷	保管料・入出庫料	528	540	1.80
	運賃	534	546	2.70
	人件費	390	414	5.70
	その他	1,014	1,038	2.60
卸売	輸送費	534	552	2.70
	精米費	942	936	-0.60
	販売費	222	228	2.70
	管理費	402	414	2.60
	その他諸費	204	210	1.60
小売	人件費	1,908	1,956	2.70
	物流費	456	468	2.70
	その他	2,538	2,568	1.20

※四捨五入の関係で各費目の合計や変動額と変動率が一致しない場合がある。
「出典：米のコスト指標（公益社団法人米穀安定供給確保支援機構）」

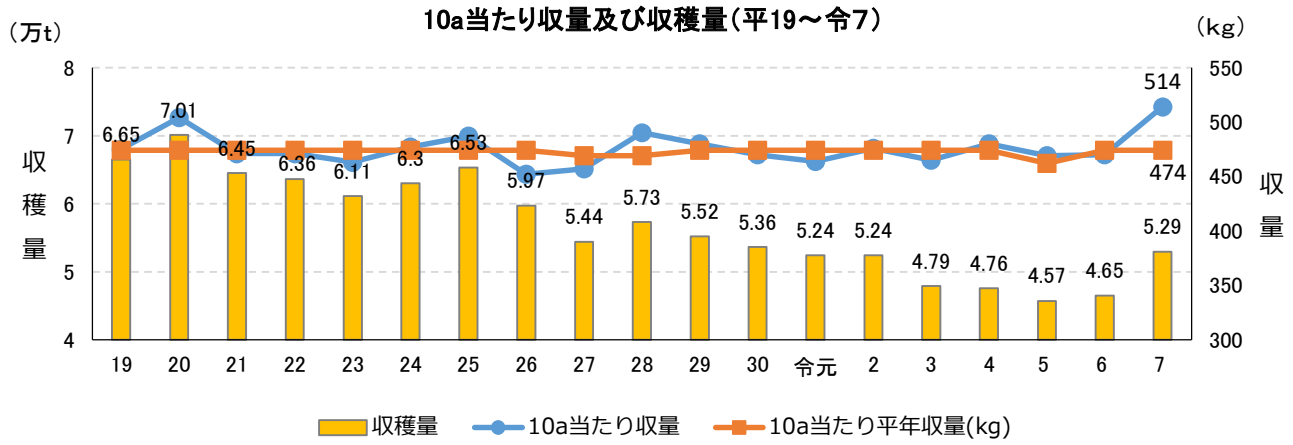




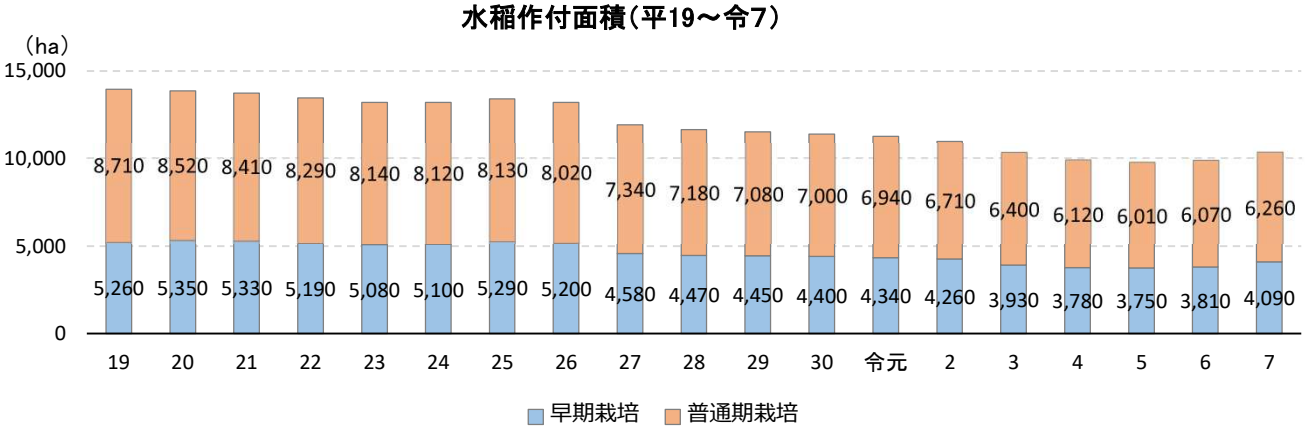
	費用内訳		低価格帯	高価格帯
生産集荷	物財費	飼料費	60～75	60～75
		敷料費・種付料、獣医師料及び医薬品費	5～10	5～10
		光熱水料及び動力費、賃借料及び料金、物件税及び公課諸負担等	5～10	5～10
		減価償却費（乳牛、建物費、自動車費、農機具費等）	15～20	15～20
	労働費	家族労働費、雇用費	20～25	20～25
	その他生産費	支払利子、支払地代、自己資本利子等	0～5	0～5
	生乳集荷費	輸送費、クーラーステーション経費、検査経費等	5～15	5～15
	小計		130～140	130～140
製造	原材料費	包装材料費等	10程度	15～20
	製造関係経費	労務費、減価償却費、修繕費、動力費、燃料費、光熱用水費等	15程度	25～30
	一般管理費	労務費、旅費交通費、光熱用水費・通信費、減価償却費、賃借料等	0～5	10程度
	販売費	販売労務費、製品保管料、製品運送費、販促費・広告費等	5～10	45～70
	小計		35～40	100～125
小売	人件費		15～20	25～30
	物流費		5程度	5程度
	水道光熱費		5程度	5程度
	減価償却費		5程度	5程度
	地代・家賃		5程度	5～10
	販促費		0～5	0～5
	その他経費		10～15	15～20
	小計		45～50	65～70

「出典：飲用牛乳のコスト指標（飲用牛乳のコスト指標作成推進会議）」
※低価格帯の牛乳は、小売価格210円/ℓ程度（税抜）、主に小売主導で商品企画等が行われるプライベートブランドの商品等。
　高価格帯の牛乳は、小売価格315円/ℓ程度（税抜）、主に乳業メーカーが通常製造するナショナルブランドの商品等

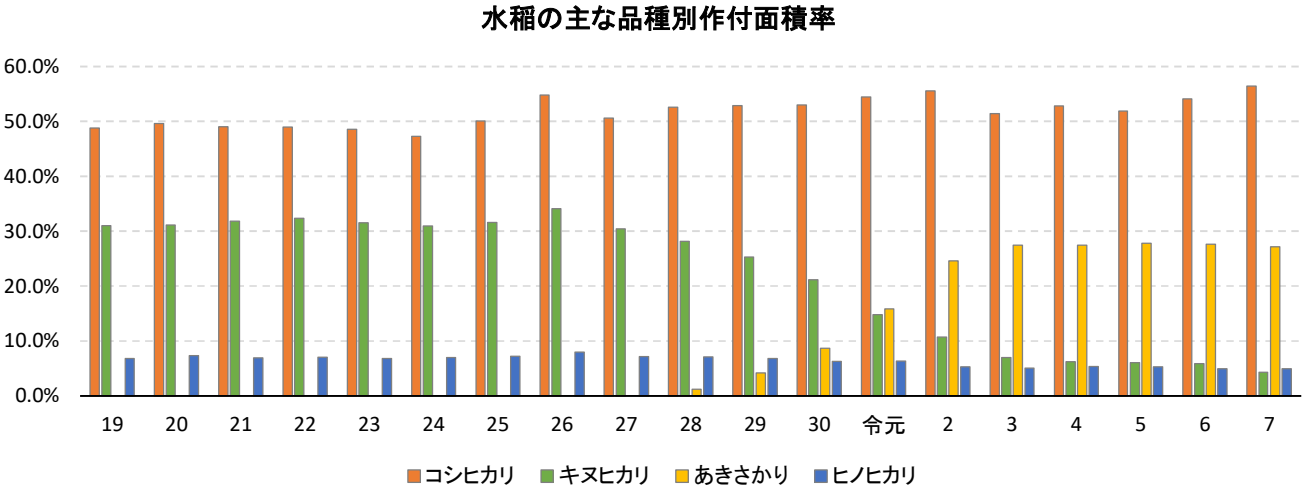
（２）米



資料：農林水産省「作物統計調査」



資料：農林水産省「作物統計調査」



資料：徳島県調べ

――――10ａ当たり収量は、514ｋｇ――――

令和7年産水稲の作付面積は10,300haで、令和6年産の9,890haに比べ410ha増加した。
10a当たり収量は514kgで、収穫量は52,900tとなった。
作況単収指数(主食用米、生産者が使用しているふるい目幅1.80mmベース)は108となった。
品種別の作付状況は、全体の56.5%がコシヒカリ、27.1%があきさかりとなっている。

令和５年度経営所得安定対策等の交付実績

	実　　績
畑作物の直接支払交付金	0.2億円
水田活用の直接支払交付金	10.4億円
①戦略作物助成	7.3億円
②産地交付金	3.1億円

――――需要に応じた米づくりの推進――――

徳島県における令和6年度の経営所得安定対策等の交付額は約10.4億円となった。

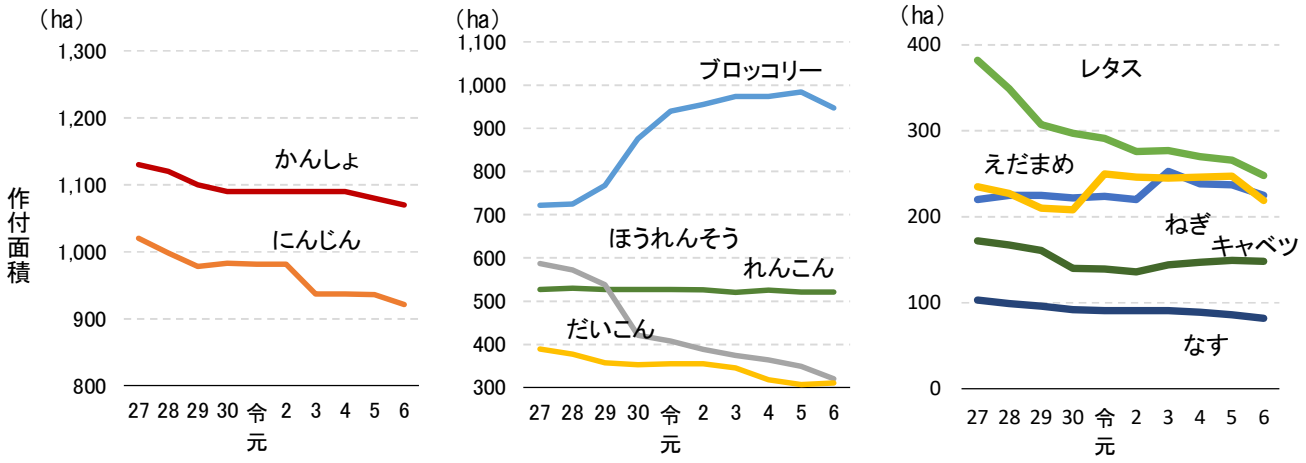
水田農業の振興方針をとりまとめた「徳島県水田収益力強化ビジョン」に基づき、需要に応じた米の生産を推進し、飼料用米、米粉用米、WCS用稲等の「新規需要米等」の作付面積は約953haとなった。

また、本県園芸品目の産地づくりを維持・発展させるため、「産地交付金」を活用し、地域ごとに産地化を進める野菜や地力増進作物の作付拡大に対する助成を行った。

さらに、酒米の産地振興を図るため、県産酒米を100%使用した地酒ブランド「阿波十割」の需要促進に取り組んでいる。

（３）野菜

主要野菜の作付面積(ha)



資料：農林水産省「作物統計（普通作物・飼料作物・工芸農作物）」「野菜生産出荷統計」

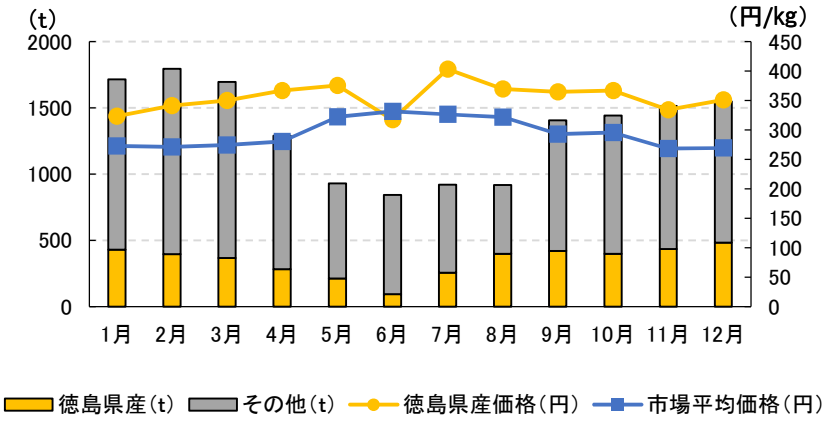
かんしょ(さつまいも)の作付面積及び収穫量

収穫量の全国上位都道府県(令6)

順位	都道府県	作付面積 (ha)	収穫量 (t)
―	全国	31,800	717,000
1	鹿児島	9,490	218,300
2	茨城	7,810	199,200
3	千葉	3,400	83,300
4	宮崎	3,180	77,300
5	**徳島**	**1,070**	**26,000**
6	熊本	810	18,200

資料：農林水産省「作物統計」

大阪中央卸売市場における月別取扱量及び価格(令6)



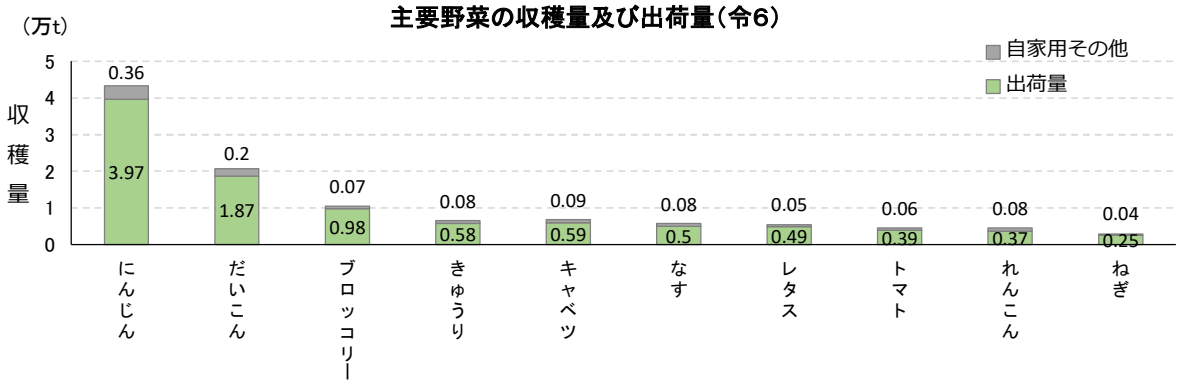
主要野菜の作付面積については、れんこんやえだまめは横ばい、ほうれんそうやレタスは減少傾向となっているが、ブロッコリーは出荷調整に手間がかからず、規模拡大を進めやすいことから年々増加傾向にある。

かんしょについては、収穫量は26,000ｔで、全国第5位である。
徳島県産ブランド「なると金時」として市場に出荷され、京阪神市場で高いシェアを占めている。大阪中央卸売市場では、市場平均価格に比べ、本県産の価格は約2割高となっており、取扱量も全体の約3割を占め、第2位となっている。

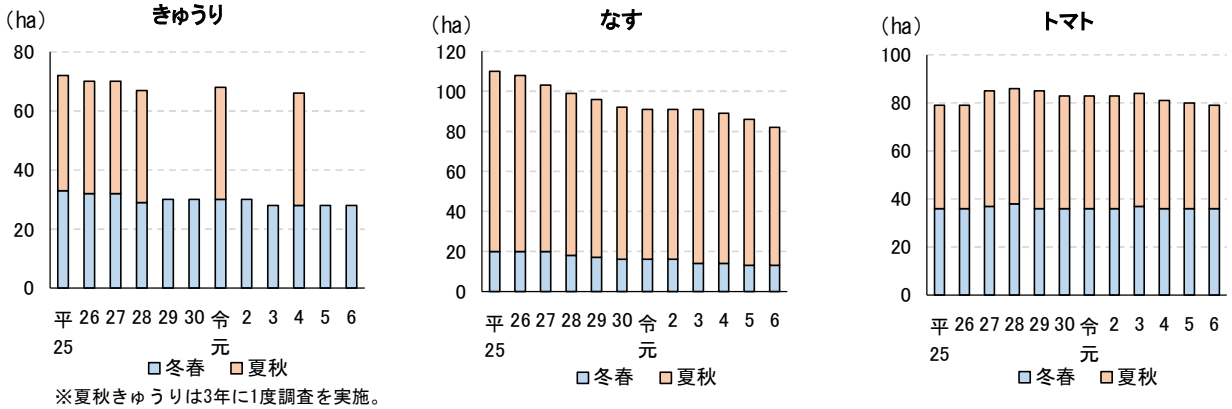
――――情報の受発信機能の強化を目指す――――

大手百貨店や量販店におけるフェアの実施に加え、首都圏においては、高円寺や南越谷等の「阿波おどりイベント」と連携した飲食店フェアの実施 さらには、調理機能を備えたPR車両による魅力発信など官民一体の地域商社「公益社団法人徳島産業国際化支援機構」や市場等との連携により、徳島県の農林水産物のプロモーションを展開している。

主要野菜の収穫量及び出荷量（令6）



主要野菜作付面積と季節区分割合

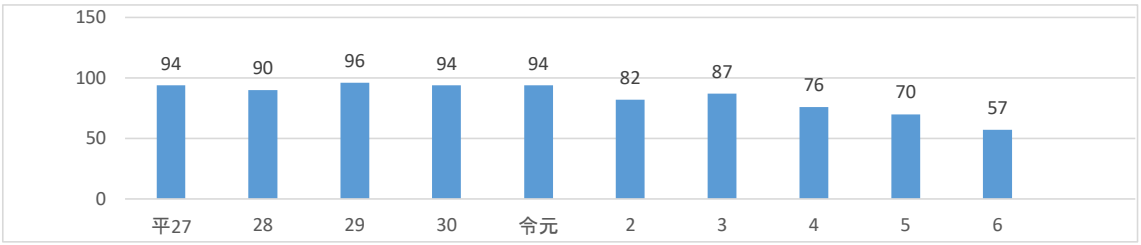


※夏秋きゅうりは3年に1度調査を実施。

区　分	きゅうり			なす			トマト		
	作付面積	季節区分		作付面積	季節区分		作付面積	季節区分	
		冬春	夏秋		冬春	夏秋		冬春	夏秋
平25	70	32	38	108	20	88	79	36	43
26	70	32	38	103	20	83	85	37	48
27	67	29	38	99	18	81	86	38	48
28	69	30	－	96	17	79	85	36	49
29	69	30	－	92	16	76	83	36	47
令元	68	30	38	91	16	75	83	36	47
2	68	30	－	91	16	75	83	36	47
3	63	28	－	91	14	77	84	37	47
4	66	28	38	89	14	75	81	36	45
5	66	28	－	86	13	73	80	36	44
6	66	28	－	82	13	69	79	36	43

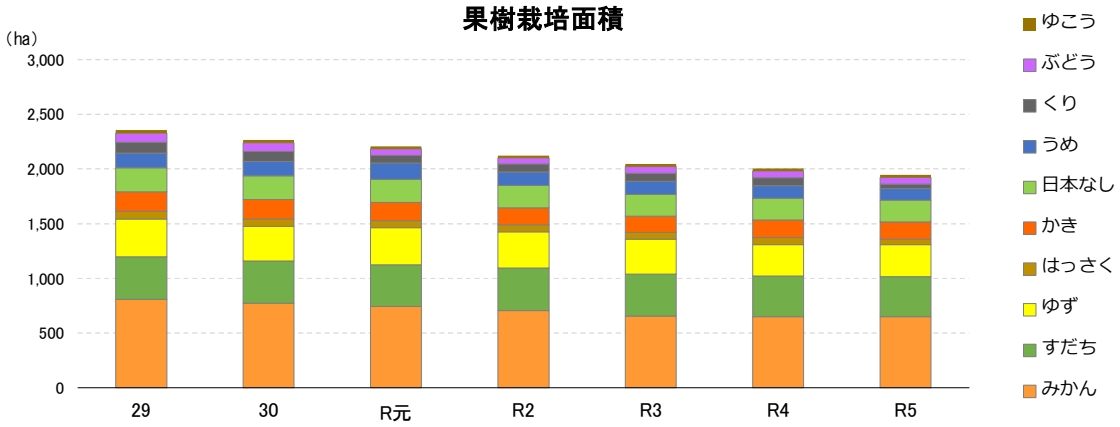
資料：農林水産省「野菜生産出荷統計」

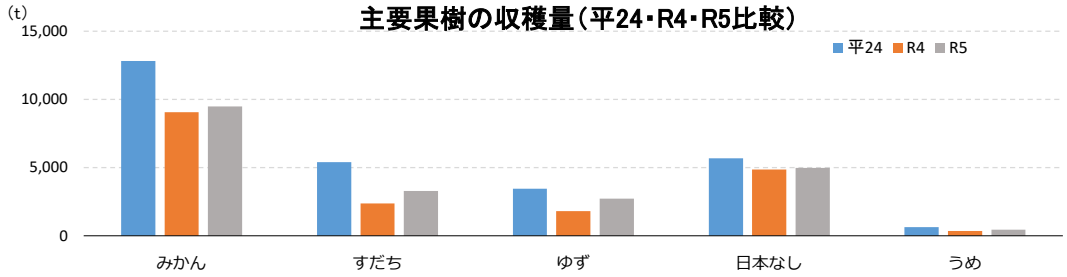
とくしま安2GAP認証取得状況



本県では、適正な工程管理を実施し、生産する農産物を「とくしま安全安心ＧＡＰ農産物」として認証しており、令和6年には、57件（557経営体）を認定した。なお、農林水産省の「GAP」表示に係る工程管理基準の変更（人権保護や農場管理の必須化）に伴い、令和7年度には、県独自の「とくしま国際水準GAP認証制度」を新設（従来の制度は「とくしま安全安心農産物認証制度」として継続）した。

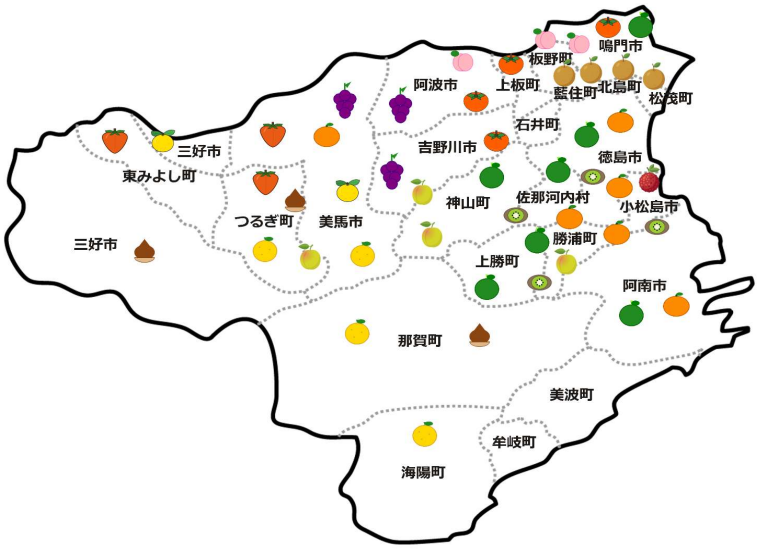
（４）果樹





資料：農林水産省「果樹生産出荷統計」
すだち・ゆず・はっさく・かき・くり・ゆこうは「特産果樹生産動態等調査」（徳島県調べ）
平成29年以降のぶどうは「特産果樹生産動態等調査」（徳島県調べ）
みかん、日本なし、うめの栽培面積は平成２８年から結果樹面積

徳島県の主要果樹栽培分布図

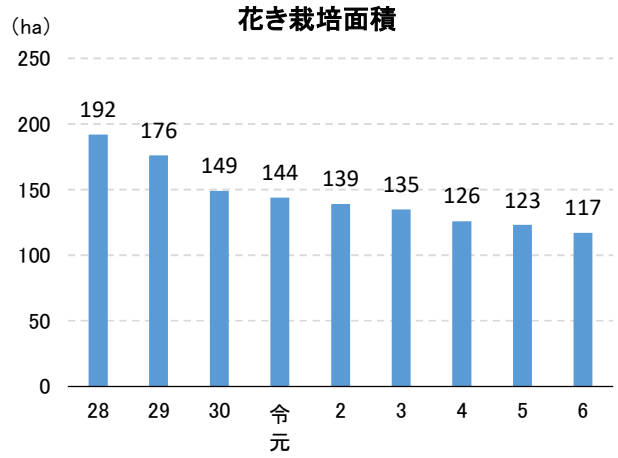


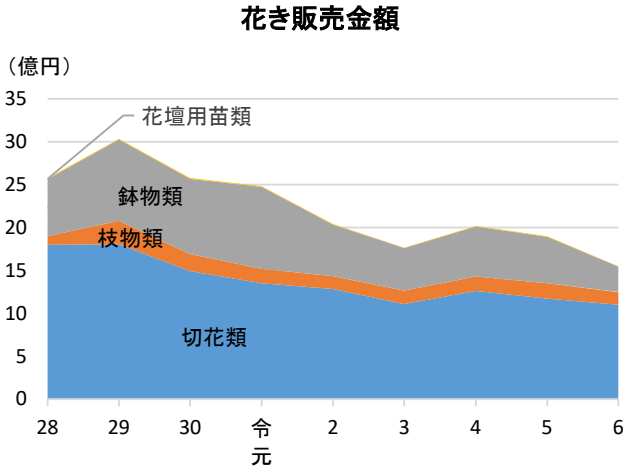
――――ブランド果実の生産拡大を推進――――

本県は、果樹農業の振興に関する方針を定めた「徳島県果樹農業振興計画書」に基づいて、恵まれた自然環境のもと、すだちに代表されるブランド品目等の高品質な果実の生産振興を図っているが、近年は高齢化や担い手不足により生産量が減少傾向にある。

R5年産の果樹の栽培面積は2,246haで、種類別の栽培面積の割合は、みかん28.9%、すだち16.3%、ゆず13.1%で約6割を占め、日本なし8.9%、うめ4.6%を加えると全果樹の約7割となっている。また、本県オリジナルのゆこうについては上勝町を中心に約24haで栽培されている。

（５）花き



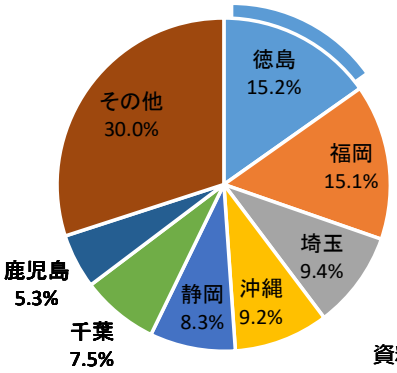


資料：徳島県「徳島の園芸　花き編」

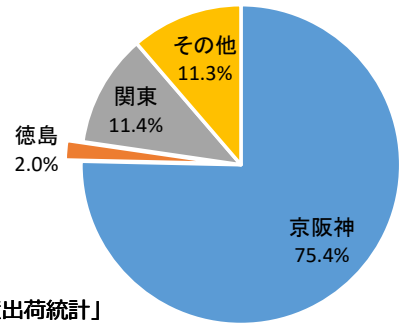
令和６年花き栽培面積は117haで、前年に比べ6ha減少した。
販売金額は、栽培面積、出荷量が減少したため、15.5億円で前年に比べ3.5億円減少した。

――――洋ラン類の切花は全国で第1位の出荷量――――

県産洋ラン（切り花）都道府県別出荷量割合（令2）

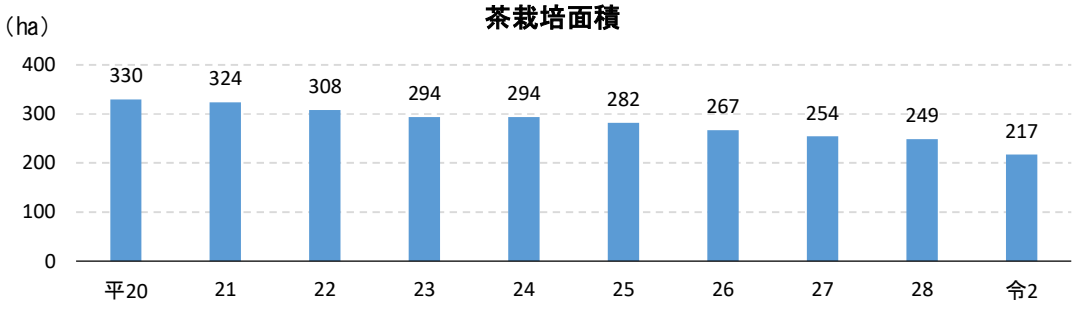


県産洋ラン（切り花）出荷先の地域別割合（令6）



資料：農林水産省「花き生産出荷統計」
徳島県「徳島の園芸　花き編」

（６）茶



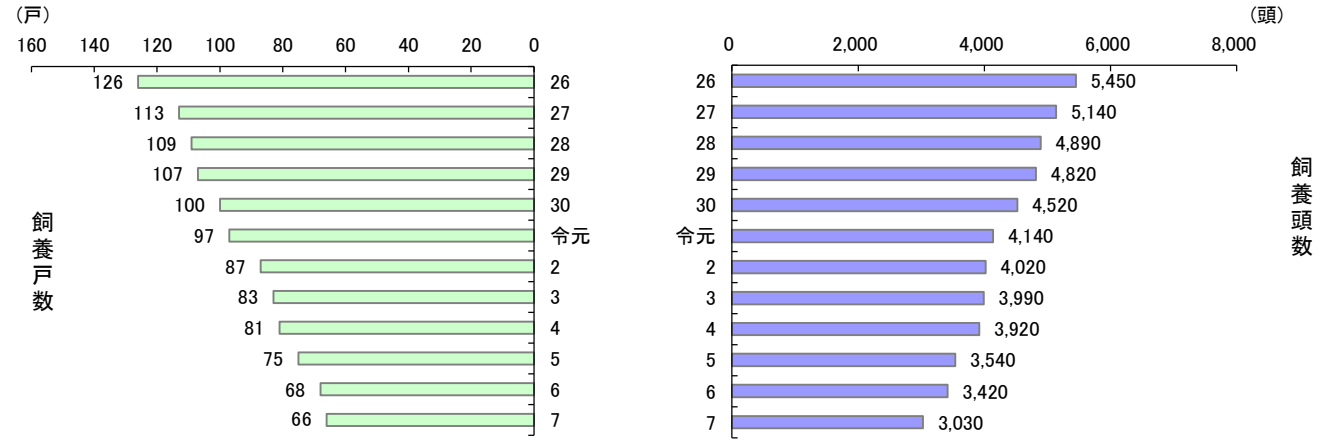
資料：農林水産省「作物統計調査」

――――阿波晩茶――――

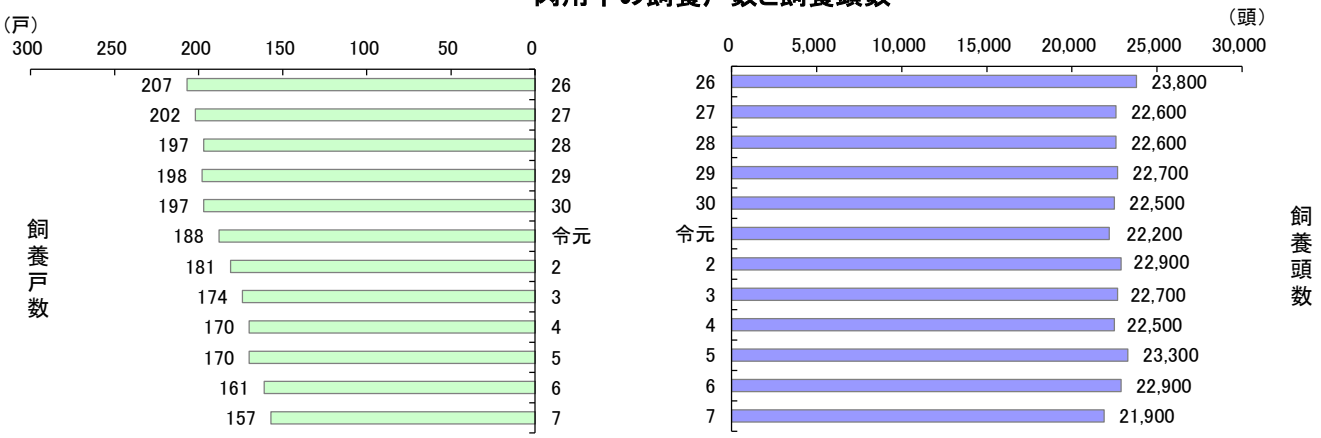
上勝町・那賀町等，本県の南西部で製造されている「阿波晩茶」は、夏に摘んだ茶葉を蒸してから桶に数週間つけこんで発酵させる発酵茶である。近年の健康志向の高まりを受けて注目されている。また、「阿波晩茶の製造技術」は、平成30年8月に愛媛の「石鎚黒茶」、高知の「碁石茶」とともに「記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財」に選択され、令和3年3月に「重要無形民俗文化財」に指定された。

（７）畜産

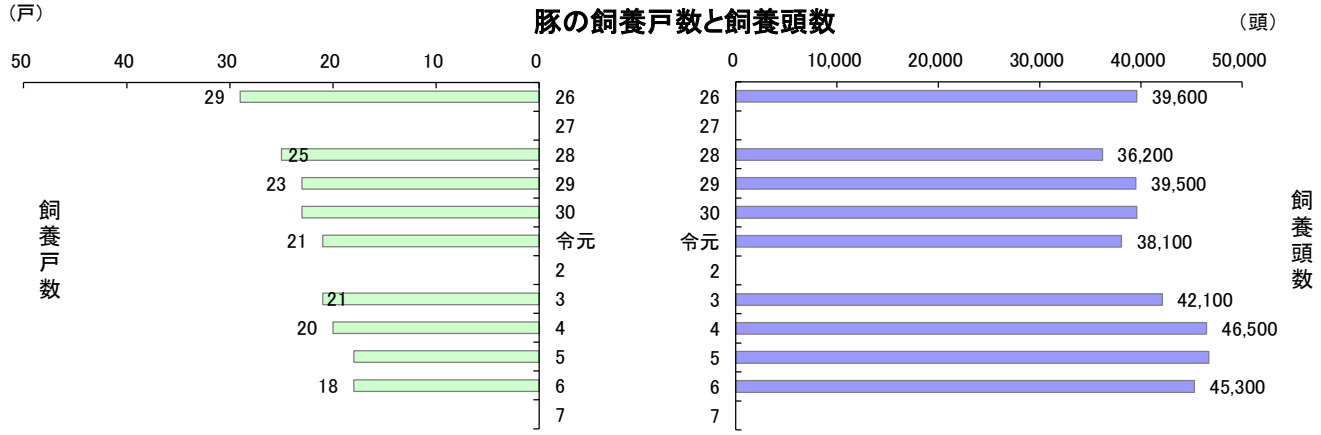
乳用牛の飼養戸数と飼養頭数



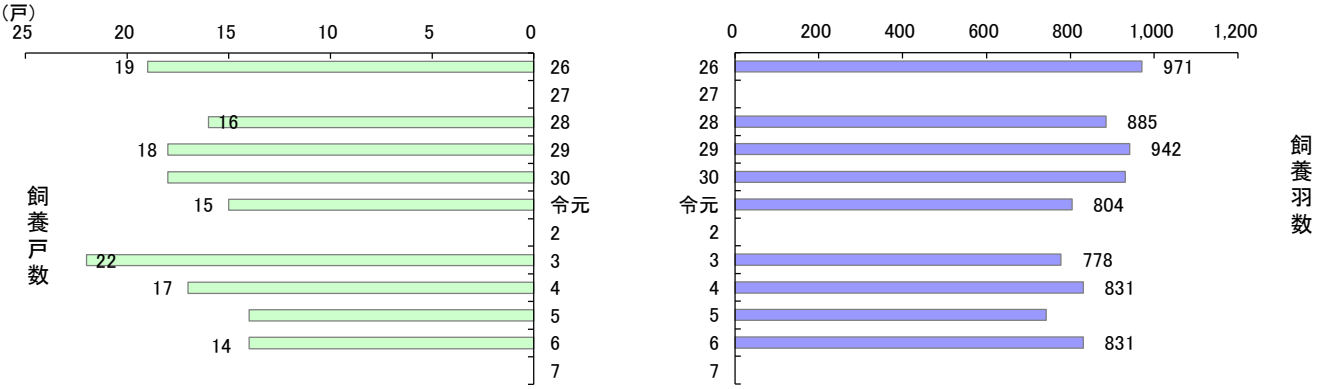
肉用牛の飼養戸数と飼養頭数



豚の飼養戸数と飼養頭数

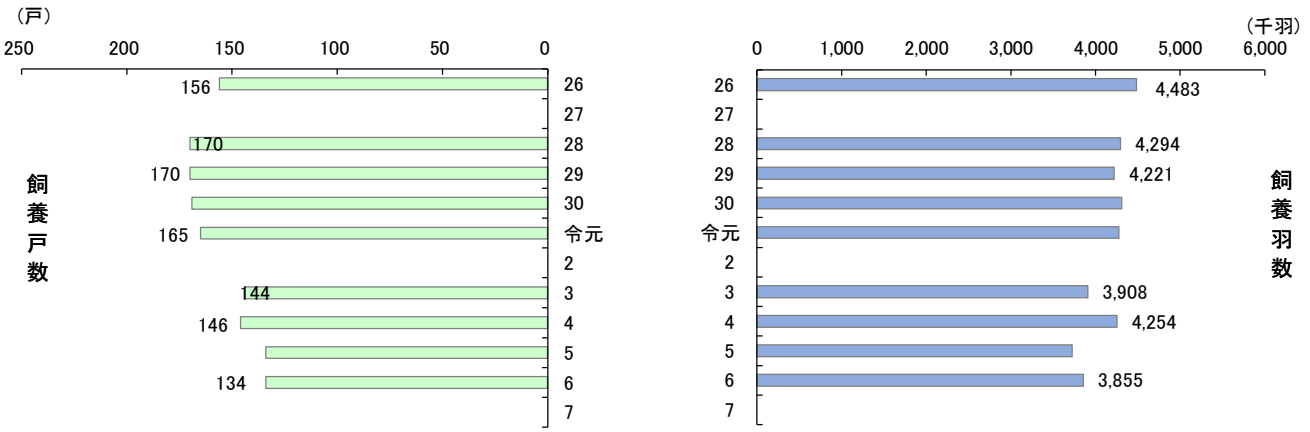


採卵鶏の飼養戸数と飼養羽数



注：平成27年、令和２年は、農林業センサスの年にあたるため、豚、採卵鶏の調査休止。

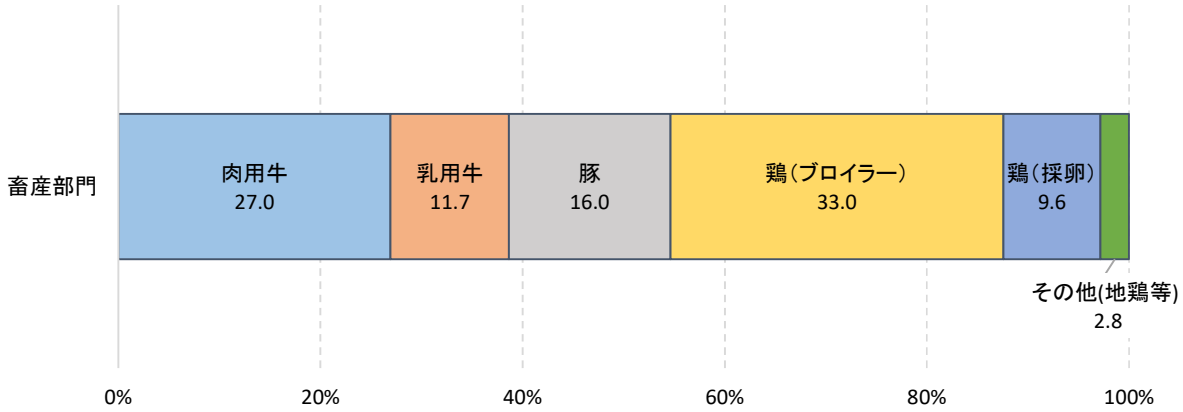
ブロイラーの飼養戸数と飼養羽数



注：平成27年、令和２年のブロイラーは調査休止。

資料：農林水産省「畜産統計」

農業算出額畜産部門構成比（令6）



資料：農林水産省「生産農業所得統計」（令５）

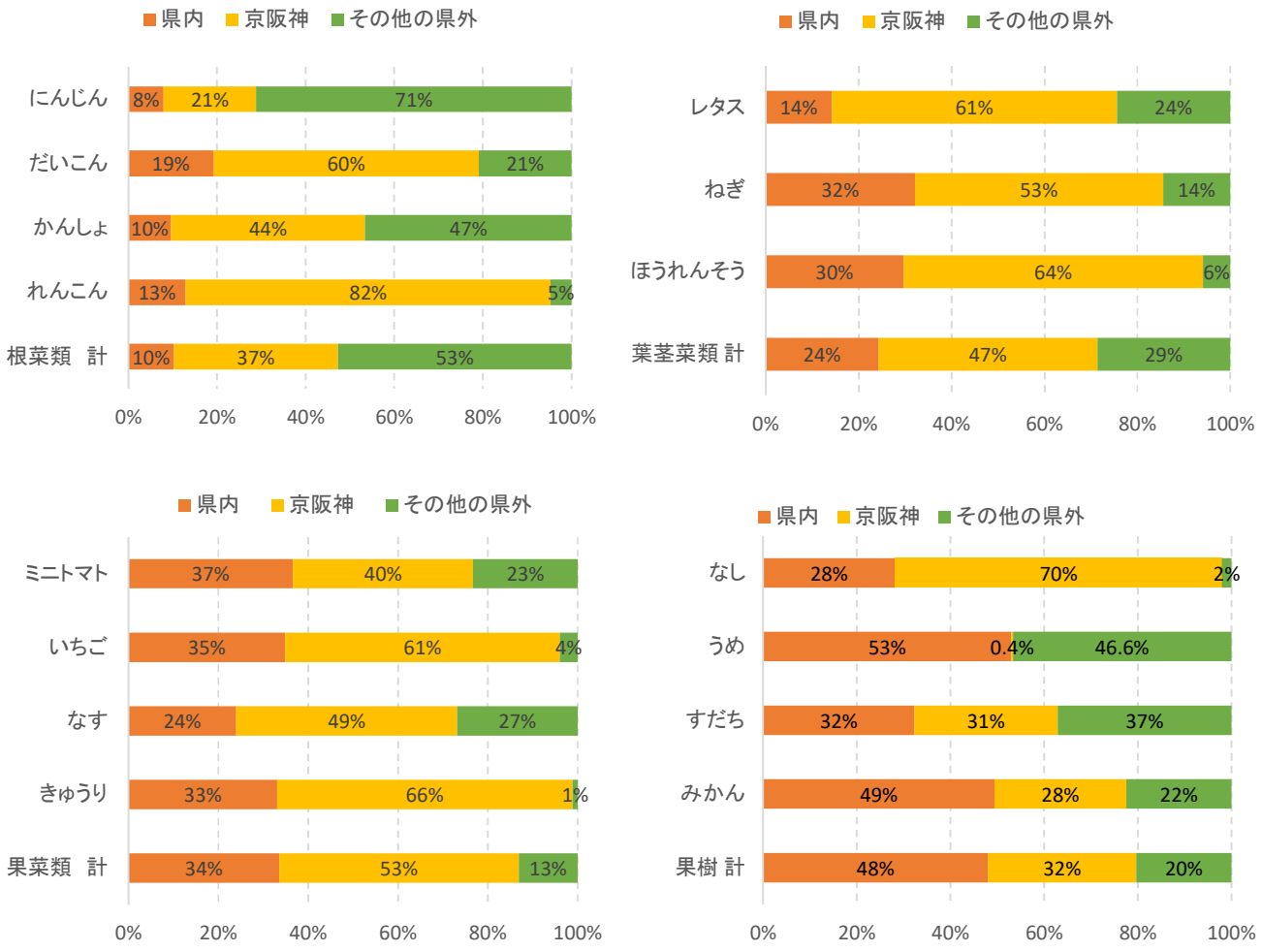
――――高品質で安全・安心な畜産物の供給――――

畜産業の振興を図るため、活力ある畜産経営の拡大支援や担い手を対象とした畜産物等価格安定対策、家畜改良増殖、家畜伝染病対策、家畜衛生及び処理・加工、流通施設の近代化、自給飼料の生産拡大等力強い生産供給体制の確立を推進している。とりわけ、本県が開発した地鶏「阿波尾鶏」は、全国で初めて地鶏肉の日本農林規格（ＪＡＳ）格付品として流通させるとともに、全国で初めて「ＪＧＡＰ家畜・畜産物」認証取得を要件とした牛肉「とくしま三ツ星ビーフ」の認知度向上及び販路開拓等、安全で高品質な畜産ブランドの安定供給に努めている。

さらに、環境に配慮した農業の一環として、家畜ふん尿の適正処理及び畜産バイオマス資源の循環利用等の家畜環境対策を推進している。

3　農産物仕向先別出荷動向（野菜：令6　果樹：令6）

主な野菜･果樹の仕向先別金額割合（根菜類･葉茎菜類･果菜類･果樹）



資料：徳島県「徳島の園芸　野菜編・果樹編」

―――京阪神への安定供給が続く―――

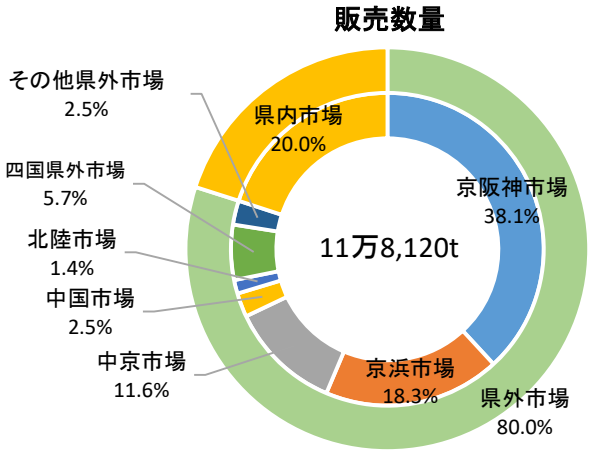
本県は恵まれた立地条件を活かしながら、多様化した消費者ニーズに即応して、京阪神をはじめとした市場への生鮮食料品の安定供給を続けている。

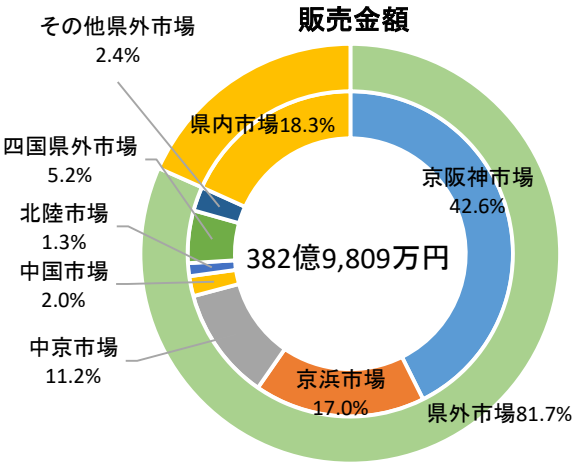
令和6年度における徳島県産野菜の市場向け販売数量は118,120ｔで、前年度に比べ10,509ｔ（8.2%）減少し、同販売金額は383億円で、前年度に比べ27億円（7.7%）増加した。このうち、京阪神市場は、販売数量で36.1%、販売金額で45.4%を占めている。

令和6年度における果実販売数量は11,080ｔで、前年度に比べ62ｔ（0.6%）減少し、同販売金額は63.2億円で、前年度に比べ12億円（23.4%）増加した。このうち、京阪神市場は、販売数量で31.9%、販売金額で31.6%を占めている。

4　青果物販売動向

（１）野菜類（令6）



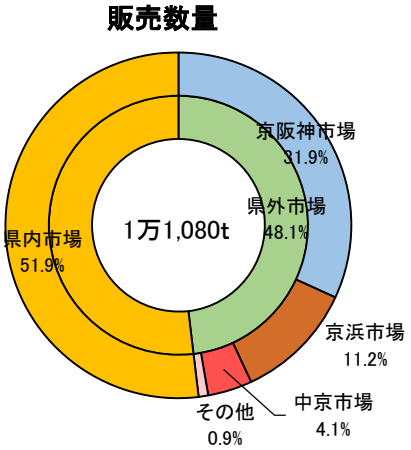


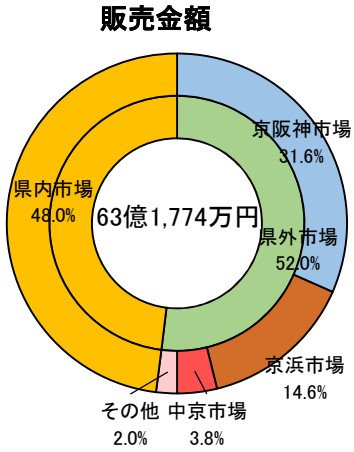
主な卸売市場における出荷数量・金額と県産シェア

区　分	総量		うち徳島県産		本県産比率	
	数量(t)	金額(百万円)	数量(t)	金額(百万円)	数量(%)	金額(%)
京阪神主要6市場	853,278	239,302	42,639	17,390	5.0	7.3
大阪市中央市場本場	358,350	101,663	16,816	7,225	4.7	7.1
大阪市中央東部市場	101,147	25,147	4,821	2,034	4.8	8.1
大阪府中央市場	129,185	35,097	6,456	2,495	5.0	7.1
神戸市中央市場本場	65,914	17,954	4,419	1,655	6.7	9.2
神戸市中央東部市場	21,969	6,017	2,276	977	10.4	16.2
京都市中央市場	176,713	53,424	7,851	3,005	4.4	5.6
東京都中央市場	1,304,600	393,411	15,783	5,320	1.2	1.4
名古屋市中央市場	373,399	101,162	9,573	3,702	2.6	3.7
徳島市中央市場	48,236	13,439	23,831	7,656	49.4	57.0

資料：対象卸売市場「市場年報」（うめ、ゆず、すだち、ゆこう、ぎんなん、かぼす、きのこ類を含む）

（２）果実類（令6）



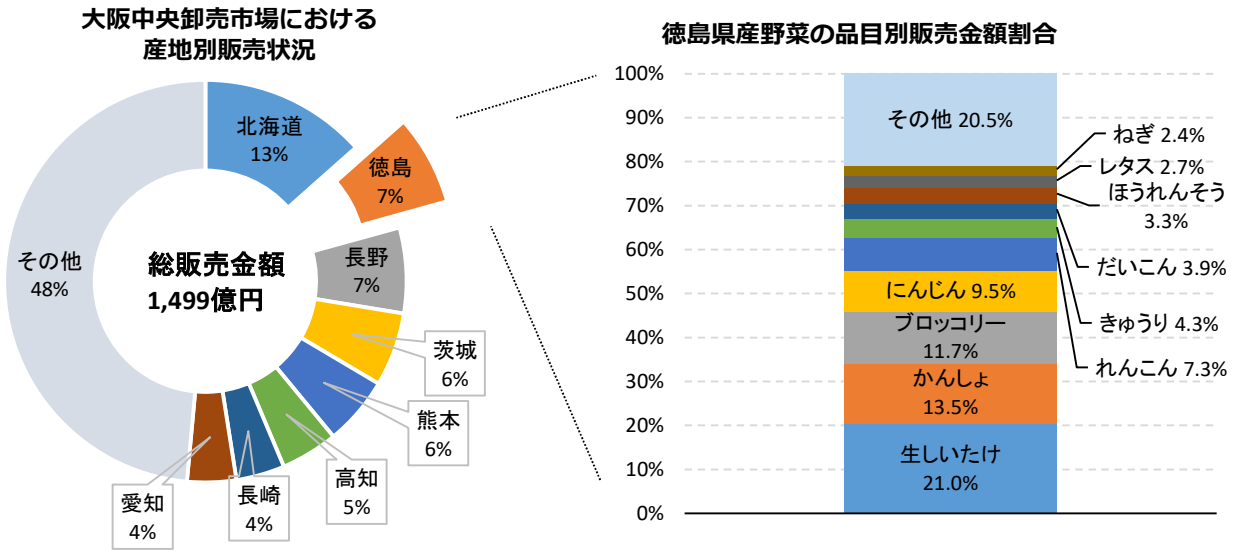


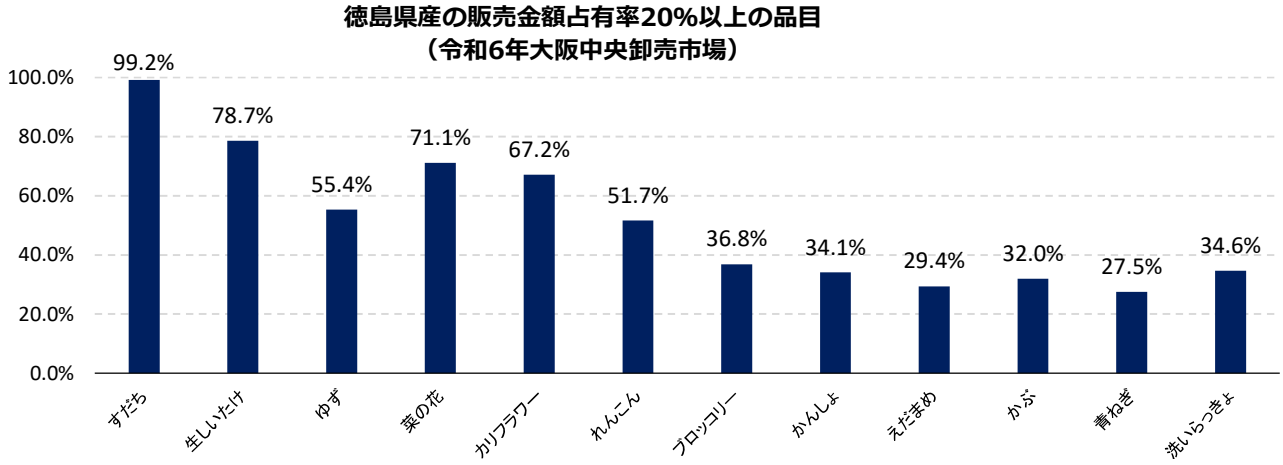
主な卸売市場における出荷数量・金額と県産シェア(R6)

区　分	総量		うち徳島県産		本県産比率	
	数量(t)	金額(百万円)	数量(t)	金額(百万円)	数量(%)	金額(%)
東京都中央市場	342,596	200,008	799	321	0.2	0.2
大阪市中央市場本場	127,148	76,831	2,117	1,537	1.7	2.0
大阪市中央市場(東部市場)	54,898	24,719	371	231	0.7	0.9
大阪府中央市場	47,660	23,223	365	197	0.8	0.8
神戸市中央市場本場	17,535	9,617	159	44	0.9	0.5
神戸市中央市場(東部市場)	7,047	3,685	96	57	1.4	1.5
名古屋市中央卸売市場	88,730	46,057	352	127	0.4	0.3
徳島市中央市場	13,305	6,294	4,557	2,233	34.3	35.5

資料：対象卸売市場「市場年報」（いちご、すいか、メロン類を含む）

5　大阪中央卸売市場での県産野菜の位置（令和６年1月～12月）





単位：百万円

		すだち	生しいたけ	ゆず	菜の花	カリフラワー	れんこん	ブロッコリー	かんしょ	えだまめ	かぶ	青ねぎ	洗いらっきょ
販売金額占有率		99.2%	78.7%	55.4%	71.1%	67.2%	51.7%	36.8%	34.1%	29.4%	22.2%	25.2%	34.6%
第1位	都道府県・国	徳島県	徳島県	徳島県	徳島県	徳島県	徳島県	徳島県	徳島県	徳島県	青森県	香川県	鳥取県
	金額	388	2,464	113	211	106	857	1,373	1,586	246	85	311	95
第2位	都道府県・国	高知県	岡山県	高知県	和歌山県	長野県	茨城県	北海道	茨城県	岐阜県	徳島県	徳島県	徳島県
	金額	3	105	71	30	32	517	591	1,413	216	59	284	58
第3位	都道府県・国	和歌山県	兵庫県	愛媛県	香川県	兵庫県	佐賀県	長野県	千葉県	山形県	福岡県	三重県	高知県
	金額	0	95	15	28	10	210	571	958	86	41	140	14

資料：大阪市中央卸売市場、大阪府中央卸売市場「市場年報」

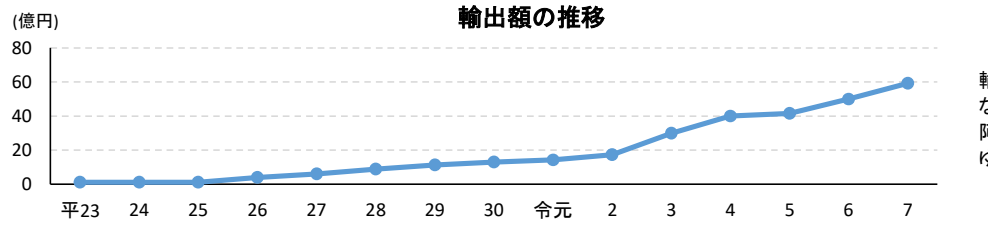
―――大阪中央卸売市場で上位を占める県産野菜―――

令和6年の大阪中央卸売市場における徳島県産の野菜販売金額は118億円（前年比4%増）であり、市場全販売金額の7.3%を占めており、北海道に次いで第2位となっている。

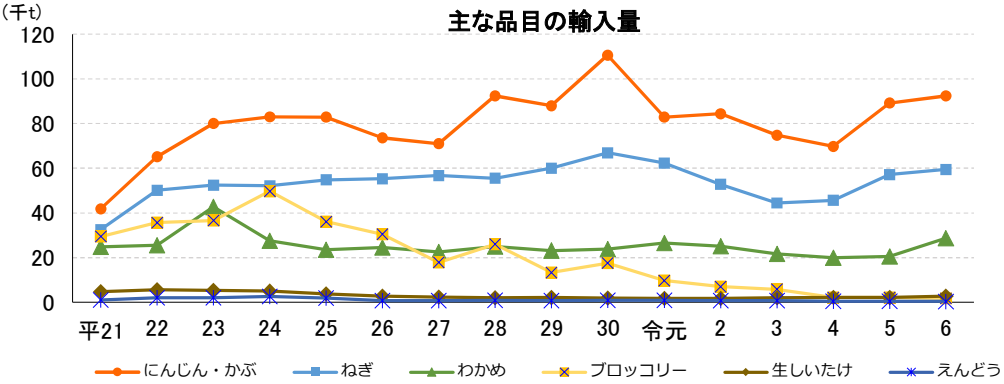
県販売金額総額に占める割合を品目別にみると、生しいたけ21.0%、かんしょ13.5%、ブロッコリー11.7%、にんじん9.5%れんこん7.3%、、きゅうり4.3%、だいこん3.9%、ほうれんそう3.3%、レタス2.7%、ねぎ2.4%、となっている。

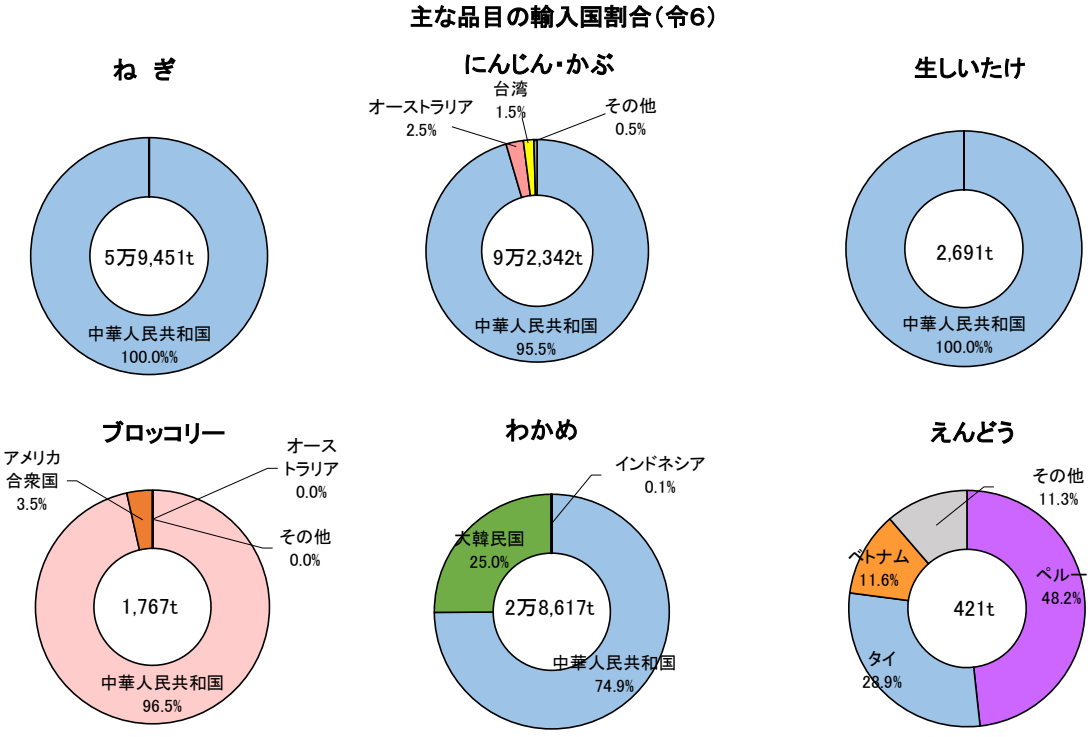
また、販売金額占有率20%以上の品目を産地別にみると、すだち、生しいたけ、ゆず、菜の花、カリフラワー、れんこん、ブロッコリー、かんしょ、えだまめの９品目で第1位となっている。

6　主な農林水産物の輸出・輸入動向



資料：販売・物流支援室調べ





資料：財務省「貿易統計」

―――輸出額の伸びは堅調、令和６年の輸入生鮮野菜は減少―――

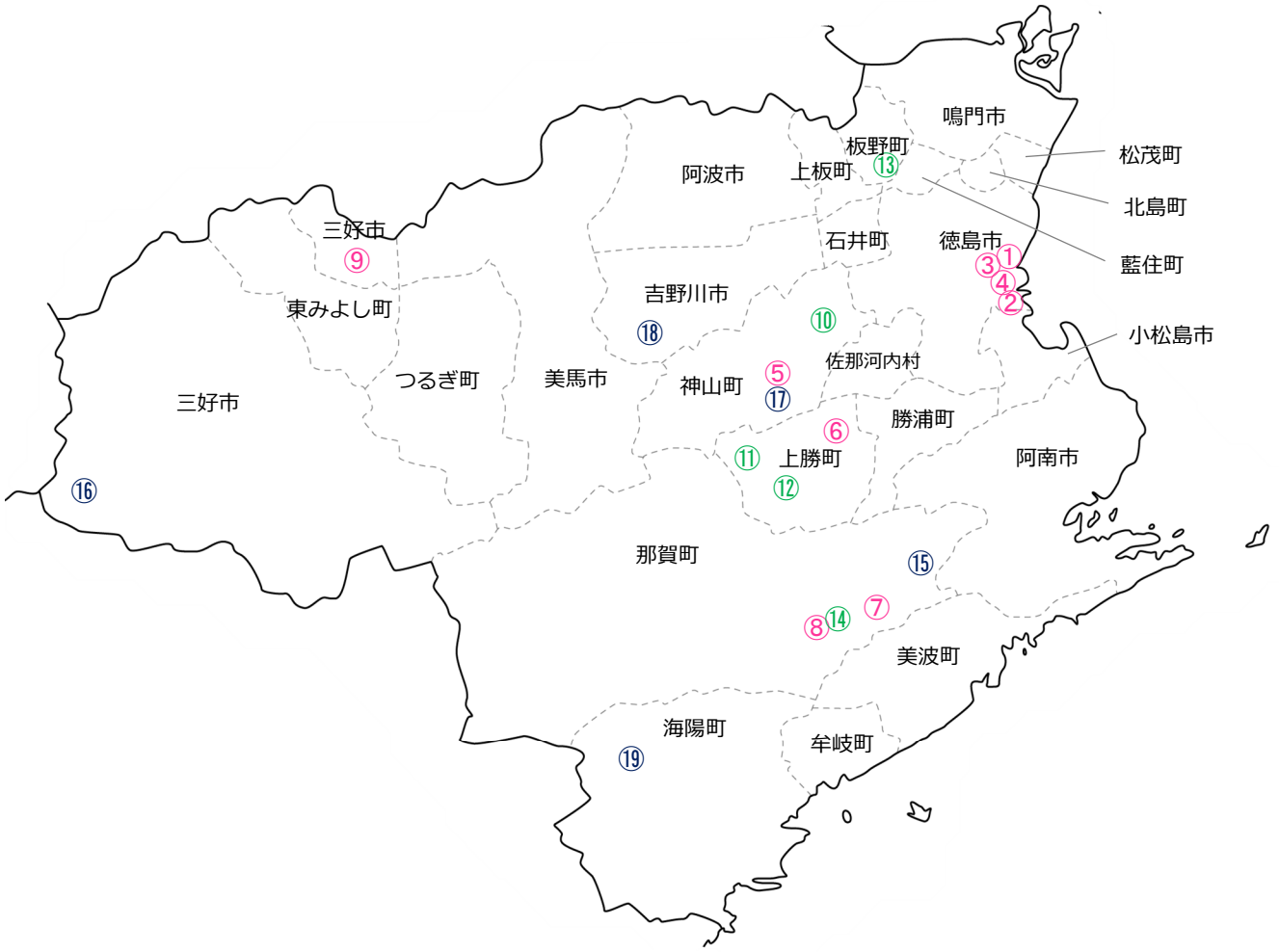
本県の主な農林水産物の令和７年度輸出実績は、約59.2億円にのぼり、調査を開始した平成23年度の約1.1億円に比べ約54倍となっている。

また、我が国へ令和７年に輸入された野菜（生鮮・冷蔵）は66万9,663ｔで、前年に比べ5万794ｔ（前年比8.2%）増となった。主な輸入先は中国（75.1%）、メキシコ（5.5%）、大韓民国（2.6%）であり、この上位3か国で８割以上を占めている。

一方、冷凍野菜の輸入量は116万9,336ｔで、前年に比べ4万8,100ｔ（前年比4.3%）増加している。

Ⅲ　林　　業

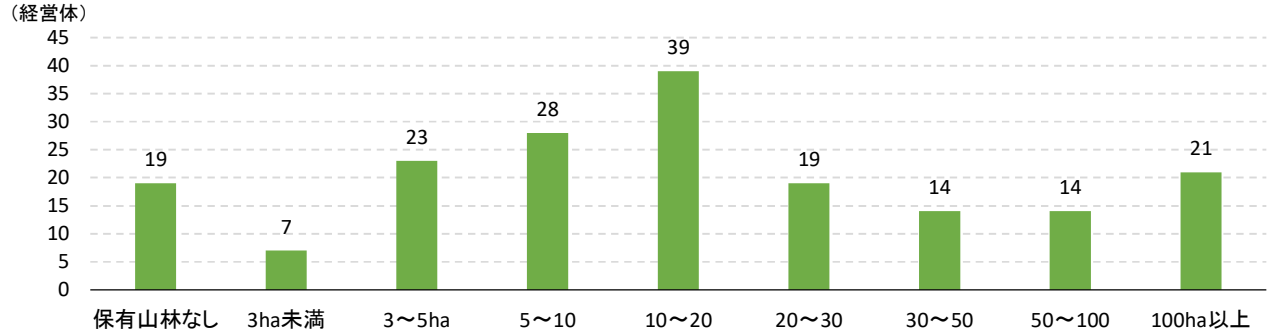
1　徳島県の主な林業施設等の設置状況
（令和8年3月現在）



木材市場		森林総合利用施設	
① 徳島市	大一木材(株)	⑩ 神山町	神山森林公園 イルローザの森
② 徳島市	(株)徳島中央木材市場	⑪ 上勝町	高丸山千年の森
③ 徳島市	丸幸産業(株)	⑫ 上勝町	高丸山千年の森ふれあい館
④ 徳島市	(株)ゲンボク	⑬ 板野町	徳島木のおもちゃ美術館
⑤ 神山町	徳島中央森林組合神山共販所	⑭ 那賀町	那賀町山のおもちゃ美術館
⑥ 上勝町	徳島中央森林組合勝浦郡木材センター	その他の施設等	
⑦ 那賀町	木頭森林組合共販所(相生木材センター)	⑮ 那賀町	フォレストキャンパス　那賀
⑧ 那賀町	木頭森林組合横石木材センター	⑯ 三好市	フォレストキャンパス　三好
⑨ 三好市	(株)三好木材センター	⑰ 神山町	フォレストキャンパス　徳島
		⑱ 吉野川市	フォレストキャンパス　吉野川
		⑲ 海陽町	フォレストキャンパス　美波

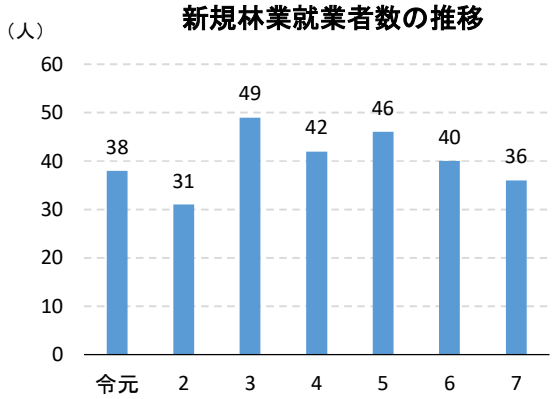
2　林業経営体数及び森林面積

（１）保有山林面積規模別林業経営体数（令７）

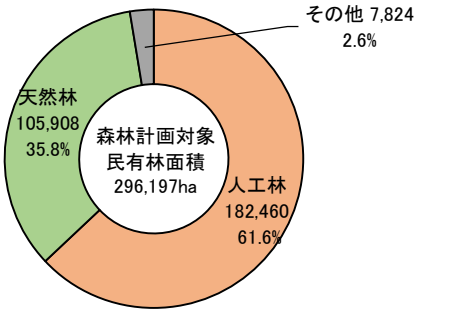


資料：農林水産省「2025年農林業センサス」

新規林業就業者数の推移

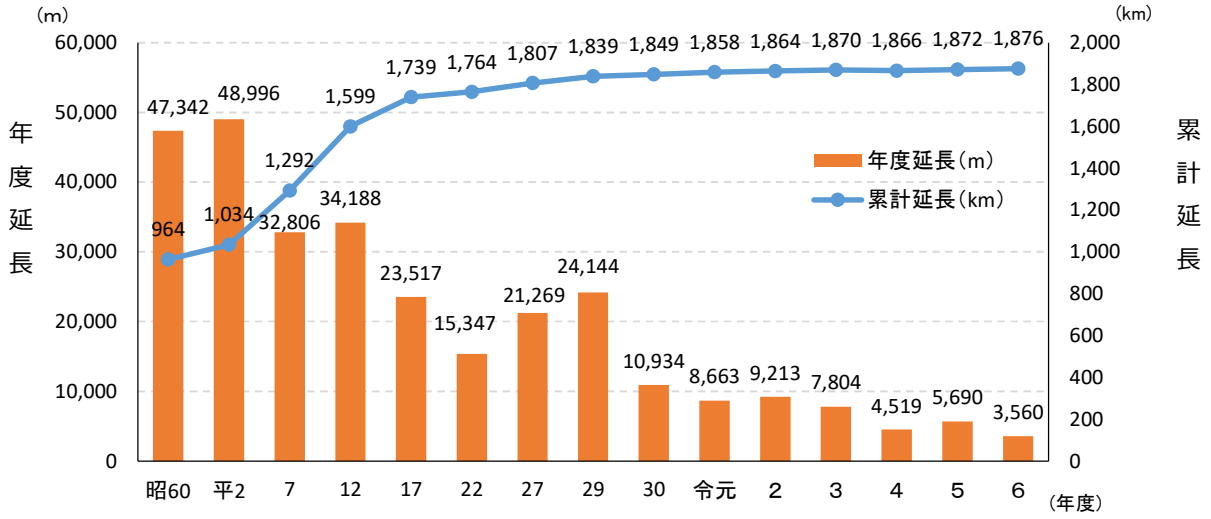


（２）森林面積の構成比（計画対象民有林）（令７）



資料：徳島県「令和８年度みどりの要覧」

（３）林道開設延長の推移



資料：徳島県「令和７年度みどりの要覧」

―――民有林が中心の森林資源―――

2025年農林業センサスにおける本県の林業経営体数(※)は184である。

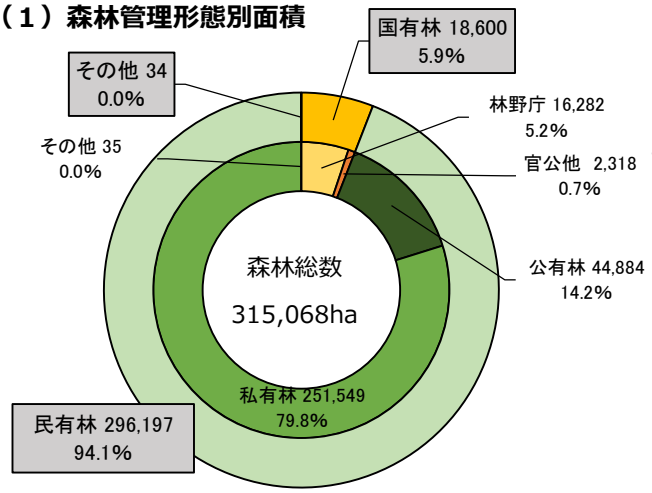
令和７年度末において、計画対象民有林面積は29万6,110haに上り、県土の森林総数のうち94%を占めている。そのうち人工林は18万7,182ha、天然林は10万2,429haで、計画対象民有林の人工林率は約63.2%となっている。

新規林業就業者は、40人前後で増減しながら推移している。

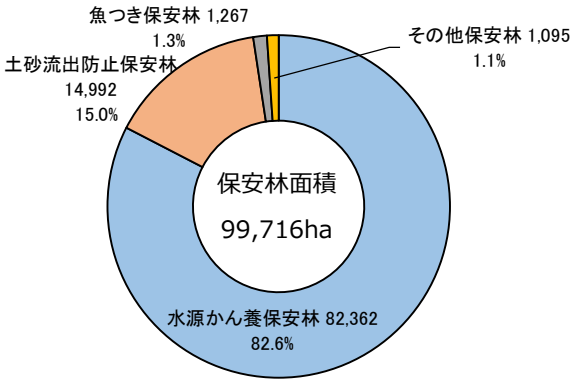
※　「林業経営体」とは、「保有山林面積が３ha以上かつ過去5年間に林業作業を行うか森林経営計画を作成している」、「委託を受けて育林を行っている」又は「委託や立木の購入に過去1年間に200㎥以上の素材生産を行っている」のいずれかに該当する者

3　森林資源

（１）森林管理形態別面積

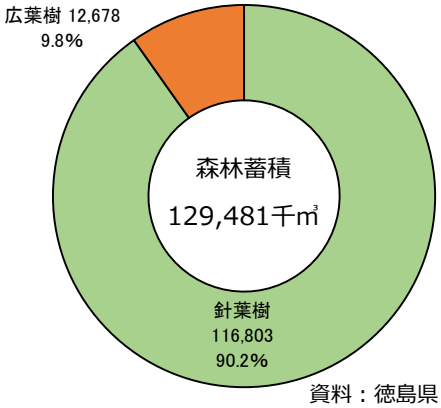


（２）保安林面積の現況（民有林）

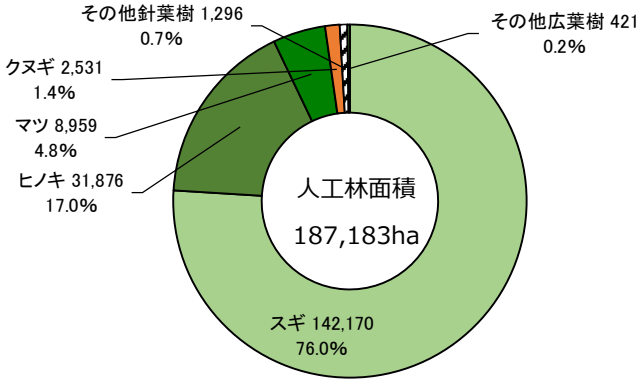


資料：徳島県「令和8年度みどりの要覧」

（３）森林蓄積の構成比（計画対象民有林）

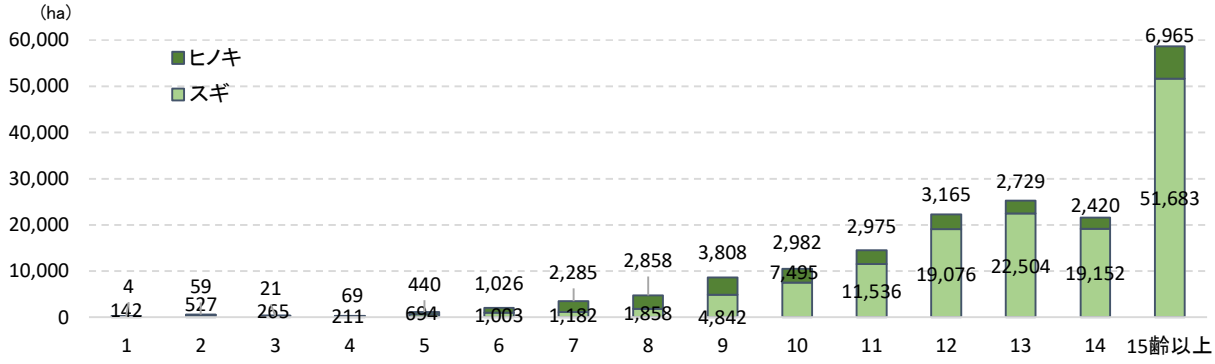


（４）人工林樹種別面積（計画対象民有林）



資料：徳島県「令和8年度みどりの要覧」

（５）スギ・ヒノキ人工林齢級構成（民有林）



資料：徳島県「令和8年度みどりの要覧」

―――公益的機能の発揮と地球温暖化防止森林吸収源対策に向けて―――

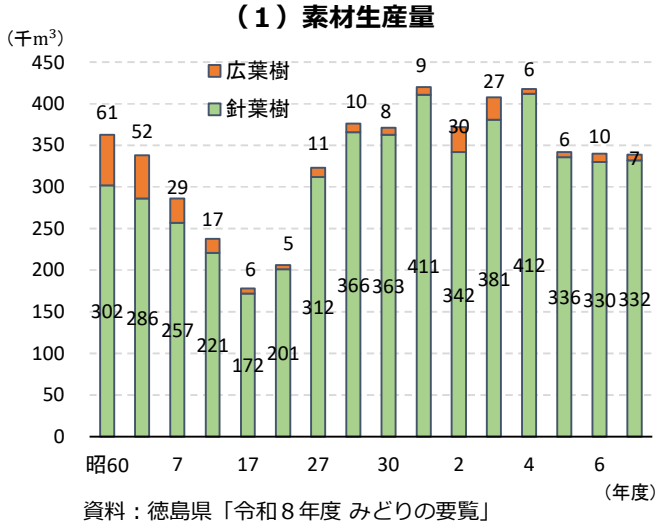
令和7年度末の森林面積は31万5,068haで県土の76%を森林が占めており、そのうち民有林面積は296,433haである。

本県の森林の94.1%占める民有林は、スギ・ヒノキなどの人工林が63.1%を占めており、そのうち10齢級以上（46年生～）の利用期を迎えたスギ･ヒノキ人工林は、87.8%を占めている。

この森林の「水源かん養機能」「山地災害防止機能」など、様々な公益的機能を高度に発揮させるため、林道等路網の整備、治山施設の効率的設置等に取り組むとともに、「徳島県豊かな森林を守る条例」に基づく森林づくりの推進と適正な保全管理の推進による健全な森林づくりを進めている。

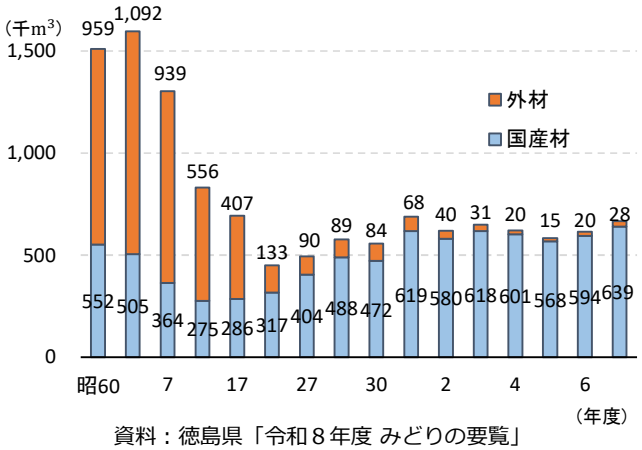
4　林業生産

（1）素材生産量



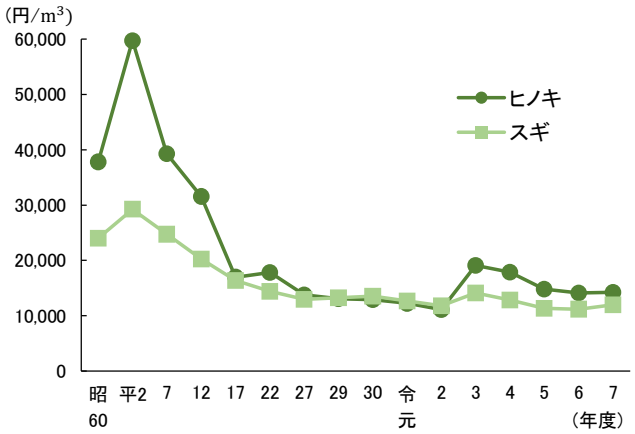
資料：徳島県「令和８年度 みどりの要覧」

（2）素材需要量



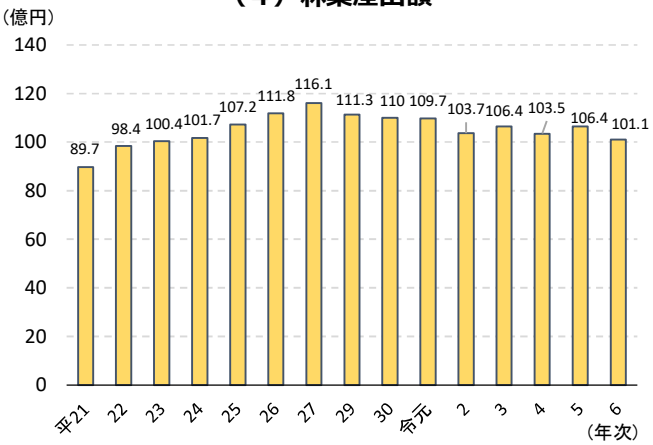
資料：徳島県「令和８年度 みどりの要覧」

（3）県内素材価格の推移



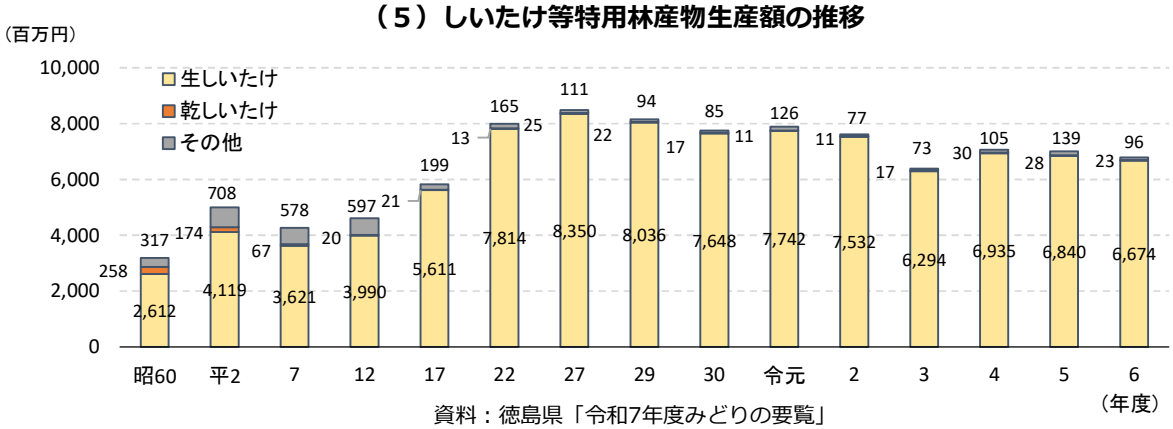
資料：徳島県「令和８年度 みどりの要覧」

（4）林業産出額



資料：農林水産省「林業産出額」

（5）しいたけ等特用林産物生産額の推移



資料：徳島県「令和7年度みどりの要覧」

――――県産材の生産拡大と木材産業の体質強化を目指す――――

林業や木材産業の振興はもとより、山村の活性化や森林の適正な整備につながる県産木材の需要拡大を図るため、「徳島県県産材利用促進条例」に基づき県産木材の良さと利用を普及啓発するとともに、住宅や非住宅民間建築物への県産木材の利用促進、また、公共施設や土木工事での県産木材の利用を積極的に進めている。

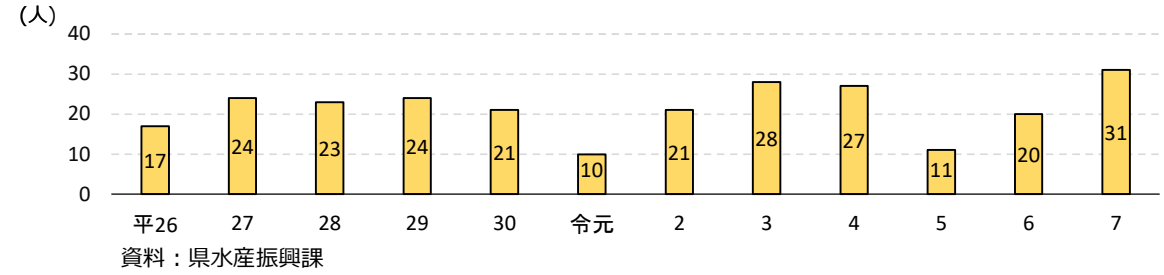
労働力不足や施業地の奥地化、生産コストの増加等の影響により、令和７年度の素材生産量は約339千㎥と令和６年度に比べほぼ同量（約１千㎥減少）であった。また、県内大型製材工場の本格稼働による影響で素材需要量は約667千㎥と前年に比べ約53千㎥増加した。

しいたけ等特用林産物の生産額は約68億円で、前年に比べ約2億1千万円の減額となったものの、生しいたけの生産量は22年連続全国第１位である。

Ⅳ 水　　産　　業

漁場環境・資源状況の悪化など水産業を取り巻く状況が変化する中、本県の豊かな自然環境を活かした強い水産業を育成するため、①漁家経営の安定と担い手の育成と確保、②漁業団体の育成・強化、③漁港・海岸と漁場の整備、④適切な資源の管理と利用、⑤海面養殖業の振興、⑥内水面漁業・養殖業の振興、⑦水産物流通・加工体制の充実、⑧漁場環境の監視と保全、⑨効率的な漁場利用の推進を主要施策として各種事業に取り組んでいる。

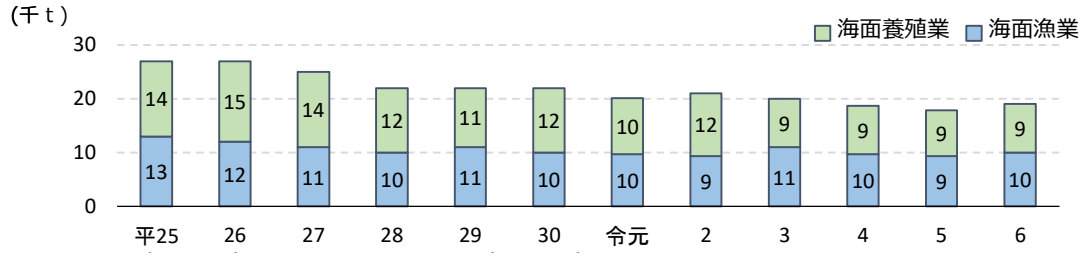
新規漁業就業者数の推移



資料：県水産振興課

1　海面漁業

（1）徳島県における海面漁業・養殖業生産量の推移

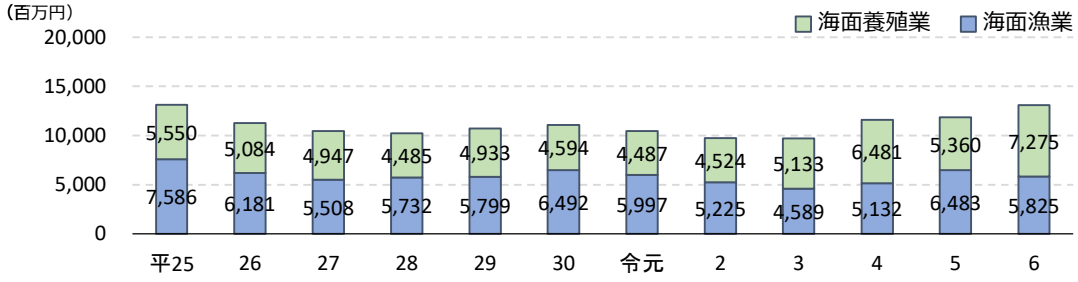


資料：農林水産省「海面漁業生産統計調査」

令和6年の海面漁業・養殖業生産量は、1万9,100tで前年に比べ1,243ｔ(7.0%)の増加となった。

内訳をみると、海面漁業の漁獲量が411ｔ（4.4%）増加し、海面養殖業の収穫量が832ｔ（9.7%）増加となった。

（2）徳島県における海面漁業・養殖業産出額の推移

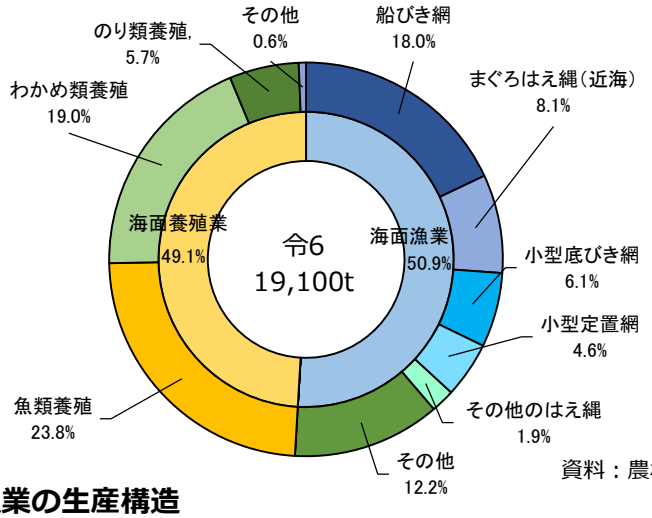


資料：農林水産省「漁業産出額」

令和6年の海面漁業・養殖業産出額は131億円で、前年に比べ増加となった。

内訳をみると、海面漁業が58億2,500万円、海面養殖業は72億7,500万円となっている。

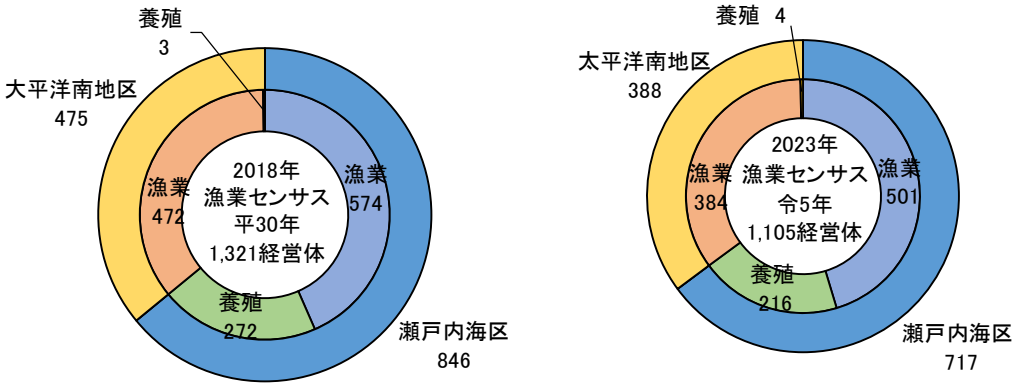
（３）海面漁業・養殖業の漁業種類別漁獲量及び収穫量割合



資料：農林水産省「海面漁業生産統計調査」

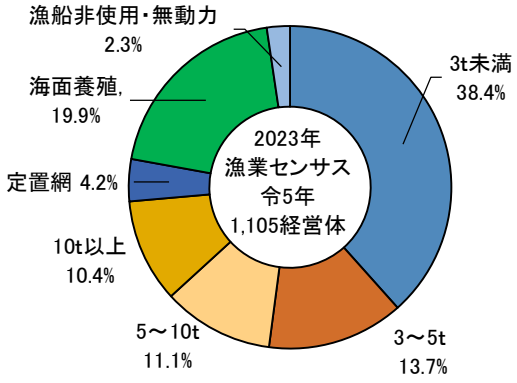
2　海面漁業の生産構造

（１）海区別経営体数



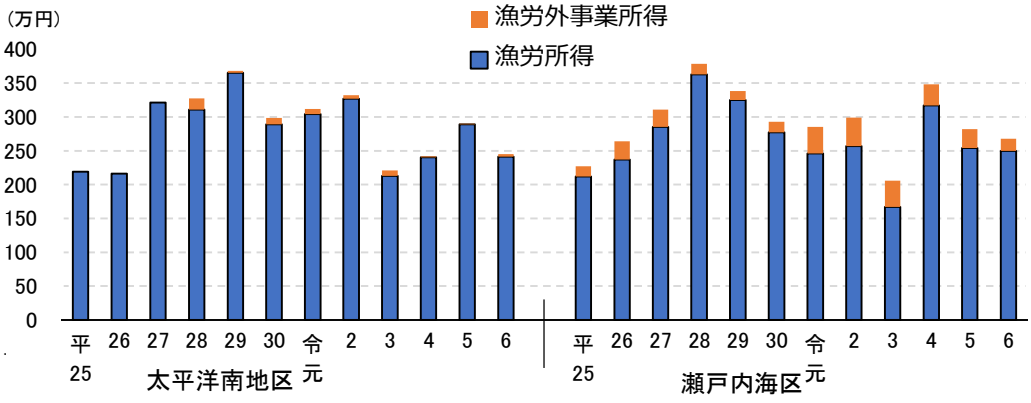
資料：農林水産省「2018年漁業センサス」「2023年漁業センサス」

（２）経営体別階層別経営体数の構成割合



資料：農林水産省「2023年漁業センサス」

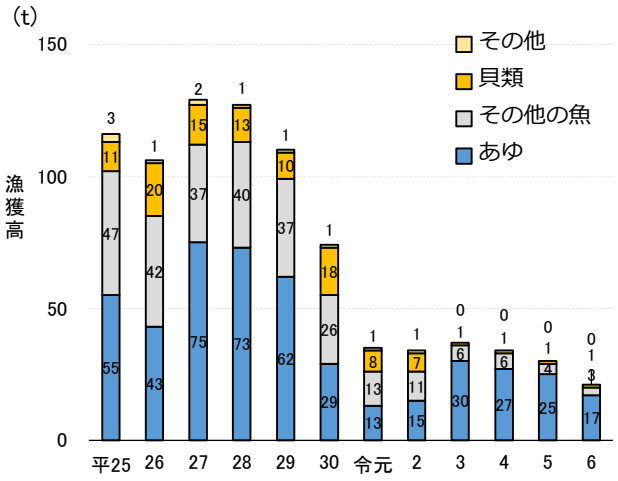
（３）経営体総所得



資料：農林水産省「漁業経営調査（個人経営体調査）」

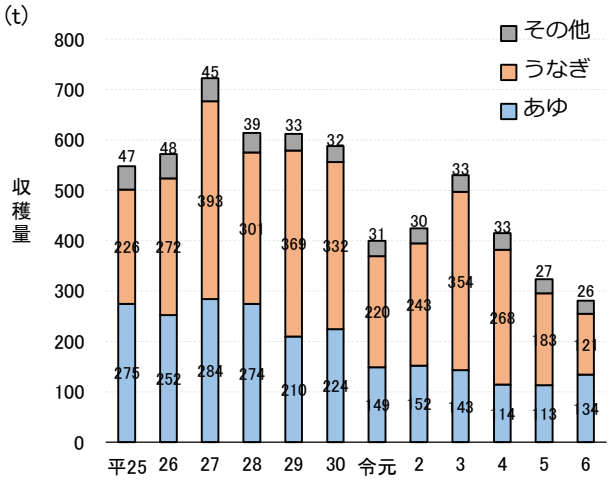
3　内水面漁業の生産量

（１）内水面漁業魚種別漁獲量



資料：農林水産省「内水面漁業生産統計調査」

（２）内水面養殖業魚種別収穫量



資料：農林水産省「内水面漁業生産統計調査」

――――あゆの養殖は全国第6位――――

令和6年の販売を目的とした内水面漁業の漁獲量は21tとなった。魚種別にみると、あゆの漁獲量が17t、その他の魚の漁獲量が3tとなっている。また、令和6年の内水面養殖業の収穫量は281tで、前年に比べ42t（13.0%）減少した。これを養殖種類別にみると、うなぎ養殖の収穫量が62t（33.9%）減少し、あゆ養殖の収穫量は21t（18.6%）増加となっている。生産量では、あゆが全国第6位、うなぎが全国第8位と上位になっている。

4　全国から見た徳島の漁業

令和6年における主要魚種別漁獲量・収穫量と全国順位

順　位	第3位	第5位	第5位	第6位
種　　類	わかめ類（養殖）	いせえび	あまだい類	しらす
徳島県（ｔ）	3,626	70	64	2,360
全　国（ｔ）	39,658	954	1,085	36,391

順　位	第6位	第7位	第8位	第8位
種　　類	あゆ（養殖）	あわび類	ぶり（養殖）	うなぎ（養殖）
徳島県（ｔ）	134	26	4,071	121
全　国（ｔ）	3,487	595	103,780	16,674

――――わかめ類の養殖は全国第3位――――

令和6年における主要魚種別漁獲量・収穫量と全国順位をみると、養殖わかめの収穫量が3,626tであり、宮城県、岩手県に続き全国第3位となっている。また、いせえびが70t、あまだい類が64tでそれぞれ全国第5位。しらすが2,360t、養殖あゆが134tでそれぞれ全国６位。あわび類が26tで全国7位。養殖ぶりが4,071t、養殖うなぎが121tでそれぞれ全国８位となっている。

Ⅴ　統　計　表

1　産業別概要

(1)産業別就業者数

単位：人

年次	総数	第1次産業				第2次産業	第3次産業	分類不能の産業
		計	農業	林業	漁業			
平 12	390,509	40,352	35,487	846	4,019	112,939	232,078	5,140
17	373,825	36,475	32,600	604	3,271	95,211	235,209	6,930
22	347,093	29,377	25,876	837	2,664	81,147	223,375	13,194
27	342,906	28,086	24,954	822	2,310	80,079	223,895	10,846
令 2	328,286	24,448	21,790	761	1,897	74,530	220,298	9,010

資料：総務省統計局「国勢調査」

(2)経済活動別県内総生産

単位：億円

年次	県内総生産	第1次産業				第2次産業	第3次産業	輸入税	総資本形成に係る消費税（控除）
		計	農業	林業	水産業				
平 25	30,282	591	452	66	72	9,862	19,613	409	193
26	31,081	546	411	70	66	10,278	20,025	549	317
27	31,705	616	471	73	71	10,273	20,636	544	364
28	31,547	669	531	71	67	9,919	20,817	473	331
29	32,362	642	506	72	64	10,630	20,916	531	357
30	32,566	584	448	72	64	10,918	20,858	572	366
令 元	32,441	577	447	73	57	10,999	20,723	563	420
2	32,032	571	448	71	52	11,387	19,953	566	445
3	33,533	544	421	73	50	12,384	20,375	689	459
4	32,658	553	424	72	58	11,341	20,440	859	535

注：県民活動別総生産については、四捨五入していることから合計と内訳が一致しない場合がある。

資料：徳島県「令和４年度徳島県県民経済計算」

2　農　　業

(1)農業経営体数(経営耕地面積規模別経営体数)

単位：経営体

年次	農業経営体	0.5ha未満	0.5～1.0	1.0～1.5	1.5～2.0	2.0～3.0	3.0ha以上
令 2	14,568	4,102	5,594	2,326	1,056	785	705
令 7	11,269	3,222	4,007	1,781	799	713	747

資料：農林水産省「2025年農林業センサス」「2020年農林業センサス」

(2)自営農業従事日数別農業従事者数(過去1年間に農業に1日以上従事した世帯員数)

単位：人

年次	男女計	男							女						
		小計	1～29日	30～59	60～99	100～149	150～199	200日以上	小計	1～29日	30～59	60～99	100～149	150～199	200日以上
令 2	33,097	18,091	3,929	2,261	1,909	1,678	1,543	6,771	15,006	4,481	1,723	1,401	1,316	1,164	4,921
令 7	23,150	13,415	2,351	1,788	1,584	1,465	1,265	4,962	9,735	2,446	1,386	997	975	837	3,094

資料：農林水産省「2025年農林業センサス」「2020年農林業センサス」

(3)基幹的農業従事者数(ふだん仕事として自営農業に従事した世帯員数)

単位：人

年次	男女計	男							女						
		小計	15～29歳	30～39	40～49	50～59	60～64	65歳以上	小計	15～29歳	30～39	40～49	50～59	60～64	65歳以上
令 2	19,186	11,012	115	454	685	784	1,040	7,934	8,174	28	167	412	731	991	5,845
令 7	14,533	8,856	98	301	679	715	522	6,541	5,677	24	127	299	521	480	4,226

資料：農林水産省「2025年農林業センサス」「2020年農林業センサス」

(4)耕地種類別面積及び耕地利用率

単位：ha，%

年次	合計	田	畑				耕地利用率
		小計	小計	普通畑	樹園地	牧草地	
平 25	30,600	20,500	10,100	5,690	4,270	113	89.9
26	30,400	20,400	9,970	5,660	4,200	105	89.8
27	30,100	20,300	9,810	5,640	4,060	105	89
28	29,500	19,900	9,630	5,600	3,920	103	88.5
29	29,300	19,700	9,530	5,550	3,870	103	87.4
30	29,000	19,600	9,380	5,480	3,790	103	86.9
令 元	28,800	19,500	9,270	5,430	3,730	103	85.8
2	28,500	19,400	9,100	5,370	3,630	103	84.9
3	28,100	19,200	8,910	5,290	3,520	103	85.9
4	27,800	19,100	8,730	5,210	3,410	103	83.5
5	27,500	19,000	8,550	5,160	3,290	103	83.3
6	27,200	18,800	8,340	5,030	3,210	103	82.4

資料：農林水産省「作物統計調査」

(5)荒廃農地

単位：ha

年次	荒廃農地面積計		再生利用が可能な荒廃農地		再生利用が困難と見込まれる荒廃農地		再生利用された面積	
		農用地区域		農用地区域		農用地区域		農用地区域
平 26	2,662	1,792	1,374	984	1,288	808	38	21
27	2,711	1,653	976	626	1,735	1,027	78	53
28	2,945	1,915	1,175	863	1,769	1,052	141	91
29	2,849	1,780	1,127	796	1,722	984	111	71
30	2,857	1,678	1,162	815	1,695	863	82	54
令 元	2,948	1,729	1,192	829	1,756	900	56	36
2	3,034	1,801	1,261	894	1,774	907	51	35
3	3,109	1,892	1,456	1,013	1,653	879	105	50
4	3,072	2,080	1,414	1,018	1,657	1,061	39	27
5	3,186	2,131	1,464	1,053	1,722	1,077	28	22
6	3,257	2,192	1,512	1,084	1,744	1,108	61	48

資料：農林水産省「都道府県別の荒廃農地面積の発生状況」

(6)農業産出額及び生産農業所得

単位：億円

年次	農業産出額	耕種						畜産	加工農産物	生産農業所得
		計	米	いも類	野菜	果実	花き			
平 24	1,054	787	152	73	378	123	43	267	1	301
25	984	728	128	71	368	103	40	256	1	283
26	953	685	98	77	348	106	39	268	1	257
27	1037	737	106	85	384	110	37	300	1	327
28	1,101	825	132	84	448	109	35	276	0	388
29	1,037	768	137	71	410	103	30	268	0	365
30	981	716	134	65	371	93	37	265	0	339
令 元	961	698	133	75	349	88	36	263	0	339
2	955	700	123	82	352	95	33	255	0	334
3	930	649	91	85	343	81	33	281	1	329
4	931	659	95	86	336	88	38	272	1	310
5	986	689	98	80	364	92	38	296	1	327
6	1,092	809	162	77	429	89	36	282	1	388

注：農業産出額の内訳は、主要品目のみ掲載。

資料：農林水産省「生産農業所得統計」

(7)水稲・麦類作付面積・収穫量

単位｛作付面積：ha／10a当たり収量：kg／収穫量：t

年産	水稲			小麦			二条大麦			裸麦		
	作付面積	10a当たり収量	収穫量	作付面積	10a当たり収量	収穫量	作付面積	10a当たり収量	収穫量	作付面積	10a当たり収量	収穫量
平 24	13,200	477	63,000	75	287	215	17	338	57	37	177	65
25	13,400	487	63,500	×	277	×	×	331	×	41	217	89
26	13,200	452	59,700	66	292	193	17	362	62	49	203	99
27	11,900	457	54,400	60	296	178	20	258	52	52	178	93
28	11,700	490	57,300	64	236	151	23	178	41	58	69	40
29	11,500	480	55,200	66	300	198	25	280	70	51	206	105
30	11,400	470	53,600	56	230	129	22	223	49	60	137	82
令 元	11,300	464	52,400	42	307	129	12	533	64	66	188	124
2	11,000	476	52,400	53	302	160	13	515	67	50	251	126
3	10,300	465	47,900	54	361	195	45	210	95	32	100	32
4	9,910	480	47,600	73	321	234	38	276	105	19	168	32
5	9,750	469	45,700	77	342	263	39	200	78	15	187	28
6	9,890	470	46,500	79	278	220	37	203	75	8	189	15
7	10,300	514	52,900	70	324	227	25	220	59	5	200	10

資料：農林水産省「作物統計調査」　　× 非公表

(8)野菜作付面積

単位：ha

年産	野菜計	だいこん	にんじん	れんこん	かんしょ	たけのこ	きゅうり	トマト	うちミニトマト	なす
平 25	8,060	401	1,030	529	1,140	…	72	79	26	110
26	8,000	389	1,030	527	1,130	…	70	79	27	108
27	8,050	389	1,020	527	1,130	…	70	85	28	103
28	7,580	377	998	530	1,120	…	67	86	28	99
29	7,389	357	978	527	1,100	…	69	85	27	96
30	7,134	353	983	527	1,090	…	69	83	27	92
令 元	7,110	355	981	527	1,090	…	68	83	27	91
2	7,055	355	981	526	1,090	…	68	83	25	91
3	6,995	345	937	520	1,090	…	63	84	26	91
4	6,781	318	937	525	1,090	…	66	81	25	89
5	6,719	307	936	521	1,080	…	66	80	25	86
6	6,540	311	921	521	1,070	…	66	79	24	82

年産	しろうり	いちご	キャベツ	ほうれんそう	レタス	ﾌﾞﾛｯｺﾘｰ	ねぎ	さやいんげん	さやえんどう	えだまめ	スイートコーン
平 25	…	90	174	630	389	580	212	50	88	232	220
26	23	…	172	600	381	653	212	…	76	234	200
27	…	…	172	587	382	722	220	…	72	233	202
28	20	77	167	572	349	725	225	46	71	225	201
29	…	76	161	538	307	768	225	…	72	226	215
30	24	…	140	421	297	876	222	…	56	238	199
令 元	…	73	139	408	291	940	224	41	59	250	205
2	30	…	136	388	276	955	220	…	50	246	212
3	…	…	144	374	277	974	253	…	48	245	207
4	52	70	147	364	270	974	238	36	48	246	210
5	52	70	149	349	266	984	237	36	46	247	203
6	24	…	148	320	248	947	225	…	45	219	201

注：野菜計は作付延べ面積に、いも類のかんしょを含む。　　… 不詳

資料：農林水産省「野菜生産出荷統計」「地域特産野菜の生産状況」「特用林業基礎資料」

(9)果樹栽培面積・収穫量

単位 { 栽培面積：ha / 収穫量：t

年産	果樹栽培面積	みかん		はっさく		ゆず		すだち		ゆこう		ぶどう	
		栽培面積	収穫量	栽培面積	収穫量	栽培面積	収穫量	栽培面積	収穫量	栽培面積	収穫量	栽培面積	収穫量
平 27	2,900	878	13,400	71	480	340	3,453	405	5,374	26	268	81	-
28	2,708	825	12,900	69	963	348	3,601	397	4,628	29	310	79	-
29	2,204	808	12,000	66	1,013	343	2,374	390	4,063	29	158	58	-
30	2,137	774	12,700	64	983	314	2,281	386	4,213	25	398	57	380
令 元	2,077	744	11,800	64	838	338	2,574	382	4,156	24	308	64	833
2	2,423	706	13,300	63	826	331	2,951	389	3,772	21	301	62	720.9
3	2,343	656	9,180	49	660	318	2,817	382	4,057	24	305	60	757
4	2,272	652	9,060	32	427	286	1,819	371	2,360	24	242	55	734
5	2,246	649	9,470	35	202	295	2,721	366	3,293	24	171.4	63	730
6	2,047	640	7,940	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

みかん、日本なし、うめの栽培面積は平成２８年から結果樹面積　　- 非公表

年産	日本なし		うめ		かき		くり	
	栽培面積	収穫量	栽培面積	収穫量	栽培面積	収穫量	栽培面積	収穫量
平 27	229	4,330	175	477	239	-	110	-
28	218	5,250	141	302	234	-	104	-
29	218	4,930	135	440	181	-	104	-
30	213	5,030	132	436	180	-	92	-
令 元	210	4,450	130	407	165	-	70	-
2	203	4,060	123	367	155	-	72.4	-
3	200	4,360	118	395	148	-	72.4	-
4	200	4,860	114	355	161	-	72.1	-
5	200	4,980	104	451	157	-	43.8	-
6	199	3,240	98	202	-	-	-	-

資料：農林水産省「果樹生産出荷統計」

はっさく・ゆず・すだち・ゆこうは「特産果樹生産動態等調査」（徳島県調べ）

平成29年以降のぶどう・かき・くりは「特産果樹生産動態等調査」（徳島県調べ）

果樹栽培面積は全品目栽培面積（表にない果実も含む）、一部推計値を含む

(10)花き

単位：ha　　単位：百万円

年産	栽培面積 計	切花	枝物	鉢物	花壇用苗	販売額 計	切花	枝物	鉢物	花壇用苗
平 25	230	106	104	17	2	3,856	2,215	261	1,274	106
26	221	112	97	12	0	3,565	2,421	226	911	8
27	213	108	93	12	0	3,521	2,384	217	911	8
28	192	90	86	16	0	3,172	2,798	234	860	12
29	177	81	80	15	1	2,977	1,804	275	889	10
30	149	72	68	8	1	2,576	1,492	200	875	9
令 元	145	68	68	8	0	2,479	1,351	166	955	8
2	138.8	64.57	67	7	0	2,034	1,283	148	601	8
3	135	63	65	7	0	1,776	1,107	156	496	8
4	126	56	62	8	0	2,018	1,260	169	581	8
5	123	58	59	6	0	1,899	1,170	181	541	8
6	117	56	55	6	0	1,551	1,100	148	295	8

注：ラウンドのため計と内訳が一致しない場合がある。

資料：徳島県「徳島の園芸　花き編」

(11) 茶

年産	茶 栽培面積（ha）	生葉収穫量（t）
平 25	282	…
26	267	721
27	254	…
28	249	…
29	…	…
30	…	…
令 元	…	…
2	217	580
3	…	…
4	…	…
5	…	…
6	…	…

資料：農林水産省「作物統計調査」

(12)畜産

単位　戸数：戸　頭数：頭　羽数：1,000羽

年次	乳用牛 飼養戸数	乳用牛 飼養頭数	肉用牛 飼養戸数	肉用牛 飼養頭数	豚 飼養戸数	豚 飼養頭数	採卵鶏 飼養戸数	採卵鶏 飼養羽数	ブロイラー 飼養戸数	ブロイラー 飼養羽数
平 25	137	5,640	229	24,800	37	46,500	20	851	157	4,052
26	126	5,450	207	23,800	29	39,600	19	971	156	4,483
27	113	5,140	202	22,600	…	…	…	…	…	…
28	109	4,890	197	22,600	25	36,200	16	885	170	4,294
29	107	4,820	198	22,700	23	39,500	18	942	170	4,221
30	100	4,520	197	22,500	23	39,600	18	931	169	4,310
令 元	97	4,140	188	22,200	21	38,100	15	804	165	4,276
2	87	4,020	181	22,900	…	…	…	…	…	…
3	83	3,990	174	22,700	21	42,100	22	778	144	3,908
4	81	3,920	170	22,500	20	46,500	17	831	146	4,254
5	75	3,540	170	23,300	18	46,700	14	742	134	3,723
6	68	3,420	161	22,900	18	45,300	14	831	134	3,855

注：平成22年、27年、令和２年の豚・採卵鶏・ブロイラー及び平成23年のブロイラーは調査休止。

資料：農林水産省「畜産統計調査」

3　林　　業

(1)徳島県の森林･林業主要指標

項　目	単位	全　国	徳島県	占有率(%)	順位	資　料　出　所
総　土　地　面　積	千ha	377,975	4,147	1.1	36	全国都道府県市区町村別面積調(R8)
総　人　口	人	123,049,524	675,489	0.5	44	国勢調査(R7)
総　世　帯　数	世帯	57,124,507	304,292	0.5	44	
林　野　率	%	66.3	75.3	ー	9	2025年農林業センサス
森　林　面　積	ha	24,743,898	312,254	1.3	29	
国　有　林	ha	7,117,059	16,689	0.2	34	
民　有　林	ha	17,626,839	295,565	1.7	25	
人　工　林　面　積	千ha	10,054	190	1.9	22	
人　工　林　率	%	40	60	ー	9	林野庁「都道府県別森林率・人工林率」（R4.3.31）
森　林　蓄　積	千㎥	5,560,201	103,964	1.9	22	林野庁「森林資源現況表」（R4.3.31）
国　有　林	千㎥	1,300,549	3,704	0.3	34	
民　有　林	千㎥	4,259,652	100,260	2.4	20	
保　安　林　面　積	ha	12,298,259	117,247	1.0	30	林野庁「保安林及び保安施設地区制度の概要(R8.2月)」
国　有　林	ha	6,921,398	18,354	0.3	32	林野庁治山課調べ(R7.3.31)
民　有　林	ha	5,376,861	98,892	1.8	23	
林　道　延　長	km	140,188	1,996	1.4	27	林野庁「森林・林業統計要覧2025」(R6.3.31)
国　有　林	km	46,483	61	0.1	39	
民　有　林	km	93,706	1,935	2.1	21	※幅員2.0m未満含む
農林業経営体数	経営体	847,031	11,350	1.3	36	2025年農林業センサス
林業経営体数	経営体	23,300	184	0.8	36	
林業経営体率	%	2.75	1.62	ー	31	
林　業　産　出　額	千万円	47,698	1,011	2.1	16	農林水産省「林業産出額」(R6)
素　材　生　産　量	千㎥	ー	339	ー	ー	徳島県「令和８年度みどりの要覧」
製　材　出　荷　量	千㎥	7,754	123	1.6	18	農林水産省「木材統計」(R7)
乾しいたけ生産量	トン	1,724	6	0.4	ー	特用林産林産物生産統計調査(R7)
生しいたけ生産量	トン	61,750	6,588	10.7	1	徳島県「令和８年度みどりの要覧」
ひらたけ生産量	トン	3,953	0	0.00	ー	
木　炭　生　産　量	トン	10,466	18	0.2	ー	
竹　炭　生　産　量	トン	536	10	1.9	ー	

(2)林業経営体数

単位：経営体

年次	計	保有林なし	3ha未満	3～5	5～10	10～20	20～30	30～50	50～100	100～500	500～1,000	1,000ha以上
令　2	264	9	5	35	58	46	38	22	24	20	5	2
令　7	184	19	7	23	28	39	19	14	14	14	4	3

資料：農林水産省「2025年農林業センサス」

(3)スギ･ヒノキ人工林齢級別面積（令和8年3月31日現在）

単位：ha

区分	1(1～5年生)	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15齢級以上	計
ス　ギ	142	527	265	211	694	1,003	1,182	1,858	4,842	7,495	11,536	19,076	22,504	19,152	51,683	142,170
ヒノキ	4	59	21	69	440	1,026	2,285	2,858	3,808	2,982	2,975	3,165	2,729	2,420	6,965	31,806
計	147	587	286	280	1,134	2,030	3,467	4,715	8,650	10,477	14,511	22,241	25,233	21,571	58,648	173,976

注：1齢級は5年

資料：徳島県「令和７年度みどりの要覧」

(4)樹種別生産量及び木材需要量

単位：1,000㎥

年度	木材生産量									木材需要量		
	針葉樹				広葉樹				合計	年次	計	うち製材用
	私有林	県有林	国有林	小計	私有林	県有林	国有林	小計				
平 22	192	3	6	201	5	0	0	5	206	22	458	282
23	224	9	4	237	6	0	0	6	243	23	431	271
24	246	6	4	256	8	0	0	8	264	24	480	270
25	263	12	4	279	12	0	0	12	291	25	499	268
26	251	14	3	268	11	0	0	11	279	26	518	276
27	292	14	6	312	11	0	0	11	323	27	499	255
28	321	16	6	343	10	0	0	10	353	28	572	247
29	341	15	10	366	10	0	0	10	376	29	577	235
30	336	17	10	363	8	0	0	8	371	30	556	217
令 元	389	16	6	411	9	0	0	9	420	1	687	207
2	325	11	6	342	30	0	0	30	372	2	620	190
3	361	14	6	381	27	0	0	27	408	3	649	193
4	379	26	6	411	6	0	0	6	418	4	621	171
5	321	10	6	337	6	0	0	6	342	5	583	160
6	301	8	21	330	10	0	0	10	340	6	614	183
7	316	10	6	332	7	0	0	7	339	7	667	230

資料：徳島県「令和8年度みどりの要覧」、農林水産省「木材統計」

(5)林業産出額及び生産林業所得

単位：1,000万円

年次	林業産出額					生産林業所得
	計	木材生産	薪炭生産	栽培きのこ類生産	林野副産物生産	
平 21	897	202	2	693	-	384
22	981	225	2	754	-	421
23	998	227	3	767	1	429
24	1,006	251	3	751	1	439
25	1,055	269	3	784	-	460
26	1,108	282	3	823	-	450
27	1,155	314	2	839	0	―
28	1,086	262	2	822	0	―
29	1,113	292	2	811	8	―
30	1,100	319	2	772	7	―
令 元	1,097	325	2	763	7	―
2	1,037	281	2	748	6	―
3	1,064	352	1	707	4	―
4	1,035	357	1	672	5	―
5	1,064	373	2	688	1	―
6	1,011	336	2	671	1	―

注：平成27年から、生産林業所得については全国値のみ

資料：農林水産省「生産林業所得統計」「林業産出額」

4　水 産 業

(1)海面漁業漁業種類別漁獲量･養殖魚種別収穫量及び産出額(R5)

	計 ①＋②	海面漁業							
		小計 ①	船びき網	小型底びき網	近海まぐろはえ縄	小型定置網	採貝採藻	その他のはえ縄	その他
漁獲(収穫)量（ｔ）	19,100	9,724	3,443	1,168	1,544	878	…	370	2,321
生産額 （億円）	131	58	…	…	…	…	…	…	…

	海面養殖業				
	小計 ②	魚類	わかめ類	のり類	その他
漁獲(収穫)量（ｔ）	9,376	4,545	3,626	1,091	114
生産額 （億円）	73	55	10	6	2

資料：農林水産省「漁業・養殖業生産統計年報」「漁業産出額」

新時代へ
躍り出そう

AI
Sustainable 藍 Land
TOKUSHIMA

2026グラフで見るとくしまの農林水産業

令和8年11月

編集・発行

徳島県（農林水産政策課）
徳島市万代町１－１
088-621-2425
088-621-2854（FAX）